

調布市道路網計画(案)

<市民参加レポート>

令和7年12月

調布市

目 次

1.	市民参加の取組の概要	1-1
(1)	市民参加の目的	1-1
(2)	検討の流れ	1-1
(3)	市民参加の手法	1-2
(4)	市民参加実施の概要	1-3
(5)	意見の整理方法	1-8
2.	市民参加の結果	2-1
(1)	第1回みちの井戸端会議	2-1
(2)	市民アンケート調査	2-5
(3)	第2回みちの井戸端会議	2-11
(4)	道路ユーザーヒアリング	2-16
(5)	第3回みちの井戸端会議	2-18
3.	道路網計画への反映	3-1
(1)	市内の道路についておもうこと・検討の進め方に関する意見	3-1
(2)	道路網構築の目標や視点に対する意見	3-2
(3)	道路ユーザーの意見	3-4
(4)	道路の整備優先度や整備プログラムの考え方に対する意見	3-5

参考資料 目次

参考1 第1回みちの井戸端会議の結果（詳細）	参考1-1
(1) 道路の利用状況に関する結果	
(2) 自由意見に関する結果	
参考2 道路に関するアンケートの結果（詳細）	参考2-1
(1) 道路の利用状況に関する結果	
(3) 自由意見に関する結果	
参考3 第2回みちの井戸端会議の結果（詳細）	参考3-1
(1) 道路の利用状況に関する結果	
(2) 自由意見に関する結果	
参考4 第3回みちの井戸端会議	参考4-1
(1) 道路の利用状況に関する結果	
(2) 自由意見に関する結果	
参考5 「市内の道路についておもうこと」の分類	参考5-1
参考6 アンケート調査票	参考6-1
参考7 みちの井戸端会議開催案内ポスター・チラシ	参考7-1
(1) 第1回みちの井戸端会議	
(2) 第2回みちの井戸端会議	
(3) 第3回みちの井戸端会議	
参考8 みちの井戸端会議の展示パネル	参考8-1
(1) 第1回みちの井戸端会議	
(2) 第2回みちの井戸端会議	
(3) 第3回みちの井戸端会議	

1. 市民参加の取組の概要

(1) 市民参加の目的

調布市道路網計画（以下「道路網計画」という。）は、道路の位置、計画幅員、優先的に整備する路線等を定める計画であり、市民の生活に直接的に影響を及ぼす場合があります。このため、検討の進め方など初期の段階から、オープンハウス（みちの井戸端会議）やアンケート等による意見聴取、パブリック・コメント手続等、広範かつ多様な市民参加の機会を積極的に確保しながら検討を進めました。

(2) 検討の流れ

道路網計画の改定に当たっては「計画検討」、「技術検討」、「市民参加」を並行して実施しており、各計画検討のタイミングにおいて様々な市民参加手法を用いながら検討を進めました。

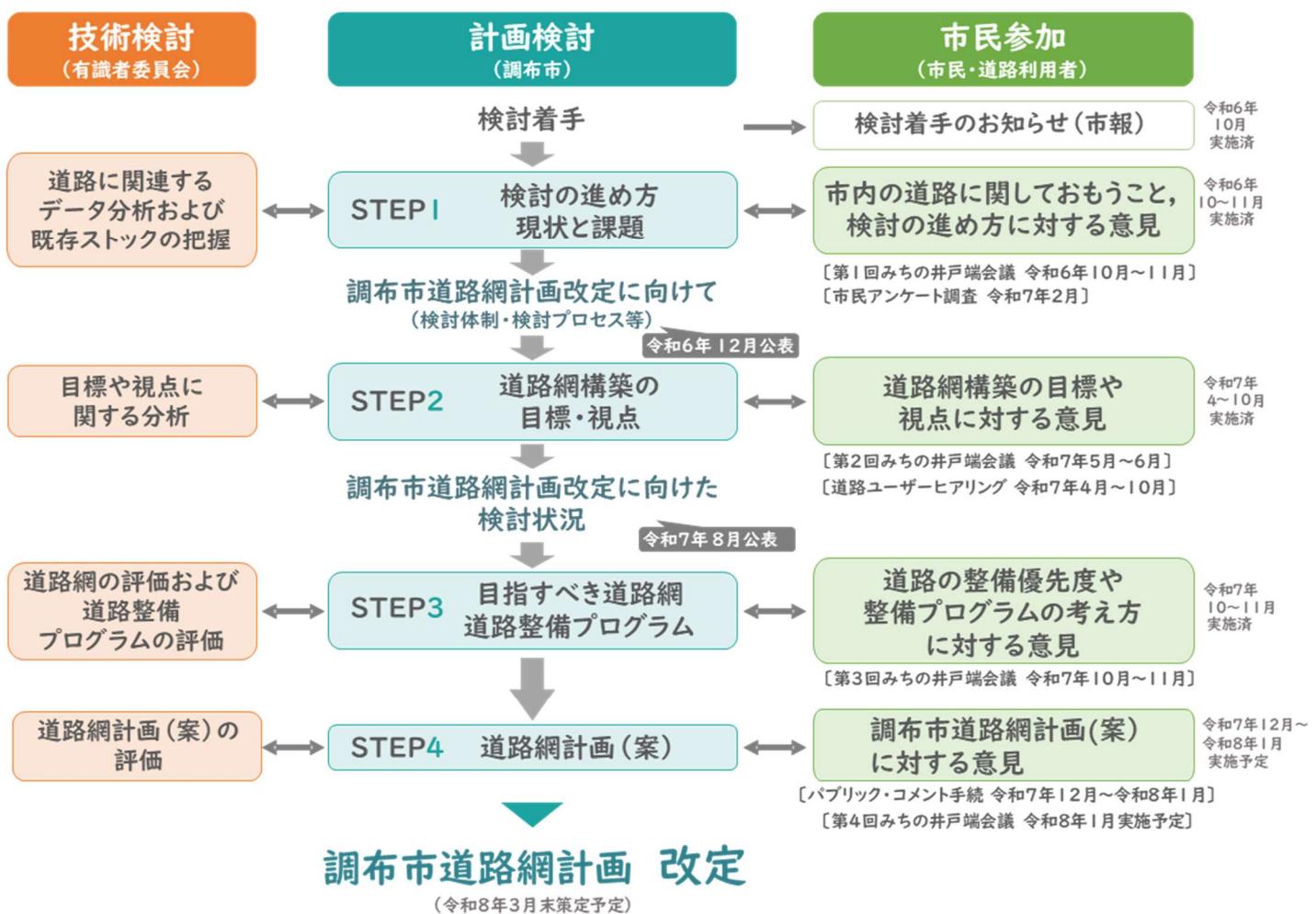


図 計画検討と市民参加の概要

(3) 市民参加の手法

市民参加には様々な手法がありますが、道路網計画の改定に当たっては、現計画策定期と同様、職員が対面形式で直接市民の皆さんのご意見を聴く、オープンハウス手法を活用しました。その愛称は、親しみやすい場をイメージして、「みちの井戸端会議」としています。

また、みちの井戸端会議の他には、満16歳以上の市民から無作為に選んだ方にお願いする「市民アンケート」を実施しています。

意見聴取に当たっては、オープンハウス（みちの井戸端会議）の実施場所や実施時間の工夫、Webアンケートの導入など、創意工夫を重ねながら、次世代を担う若年層をはじめ、幅広い年代からの意見把握に努めました。

表 計画検討の各ステップで実施した市民参加手法

計画検討のSTEP	意見聴取の内容	市民参加手法
STEP1 検討の進め方・現状と課題	市内の道路に関しておもうこと、 検討の進め方に対する意見	・第1回みちの井戸端会議 ・市民アンケート調査
STEP2 道路網構築の目標・視点	道路網構築の目標や視点に対する 意見	・第2回みちの井戸端会議 ・道路ユーザーヒアリング
STEP3 目指すべき道路網 道路整備プログラム	道路の整備優先度や整備プログラ ムの考え方に対する意見	・第3回みちの井戸端会議
STEP4 調布市道路網計画(案)	調布市道路網計画（案）に対する 意見	【令和7年12月～令和8年1月 実施予定】 ・パブリック・コメント手続 ・第4回みちの井戸端会議

(4) 市民参加実施の概要

・第1回みちの井戸端会議

第1回みちの井戸端会議では、日頃利用する道路に対して感じていること、道路網計画改定の検討の進め方に関するについてご意見を伺いました。

駅前広場及び地域福祉センター、商業施設の21会場で計25回のオープンハウスを実施し、来場者数は1,045人、意見者数は590人でした。

○開催時期

- 令和6年10月～11月

○開催場所

- 地域福祉センター、京王線の各駅前広場、商業施設等
計21会場

○開催時間

- 午前10時から午後8時までのうちの3時間

○意見者数

- 590人
(会場：566人、web：24人)

○実施手法

- 説明パネルを展示して、道路網計画の検討内容について情報提供
- 市職員が、対面形式で市民の皆さんと意見交換を実施

○周知手法

- 市報ちようふ、市ホームページに開催日時を掲載
- 市役所等の公共施設に開催日時のポスターを掲示、チラシを配架
- 市公式X、LINEによる周知

表 第1回みちの井戸端会議（令和6年10月から11月）
開催状況

施設	実施日	実施時間帯	来場者数
地域福祉センター	染地	10/24(木)	11:00～14:00
	深大寺	10/25(金)	14:00～17:00
	調布ヶ丘	10/30(水)	11:00～14:00
	富士見	10/30(水)	11:00～14:00
	入間	10/31(木)	11:00～14:00
	緑ヶ丘	11/5(火)	11:00～14:00
駅前広場	調布駅	10/30(水) 11/16(土)	17:00～20:00 15:00～18:00
	つつじヶ丘駅	11/22(金) 11/23(土・祝)	17:00～20:00 15:00～18:00
	仙川駅	10/26(土) 11/5(火)	14:00～17:00 17:00～20:00
	布田駅	10/31(木)	17:00～20:00
	国領駅	10/25(金) 11/23(土・祝)	17:00～20:00 15:00～18:00
	柴崎駅	10/24(木)	17:00～20:00
	飛田給駅	11/6(水)	17:00～20:00
	西調布駅	11/14(木)	17:00～20:00
	京王多摩川駅	11/13(水)	17:00～20:00
	プランチ調布	11/9(土)	10:00～13:00
商業施設等	深大寺	11/9(土)	10:00～13:00
	イトーヨーカドー国領店	11/9(土)	15:00～18:00
	トップ深大寺店	11/9(土)	15:00～18:00
	キテラタウン調布	11/23(土・祝)	10:00～13:00
	オザム調布多摩川店	11/23(土・祝)	10:00～13:00
	合計		1,045人



写真 駅前広場での開催状況



写真 夕方以降の開催状況

・市民アンケート調査

市民アンケート調査は、現計画の検討段階で実施した市民アンケート調査結果（平成26年度実施）と比較し、市民意識の変化を把握するために実施しました。このため、設問は、現計画の検討段階で実施したアンケート調査とほぼ同様の内容としています。

○調査対象

- 住民基本台帳より、満16歳以上の方から、無作為抽出で3,000人（性、年齢、居住地域が偏らないように考慮）を選定
- また、現計画策定時に実施したアンケート調査結果を踏まえて、回収率の低かった年齢層（10歳代～30歳代）に対して、追加で620人を抽出し、計3,620人を選定しました。

○実施時期

- 令和7年2月3日（月）～25日（火）

○実施方法

- 調査票を郵送し、郵送またはweb回答（調査票にQRコードを付与）

○設問構成

- 「道路環境」に対する満足度（4段階評価）
- 「道路環境」の問題点や懸念、期待（選択肢）
- 属性（性別、年齢、職業、居住地）
- 行動特性（目的に応じた交通手段、自動車の運転頻度）

○発送数

- 3,620票

○回収数

- 1,629票

○回収率

- 45%

・第2回みちの井戸端会議

第2回みちの井戸端会議では、みちづくりの基本理念、道路網構築の目標や視点についてご意見を伺いました。

駅前広場及び商業施設など11会場で計13回のオープンハウスを実施し、来場者数は267人、意見者数は190人でした。

○開催時期

- 令和7年5月～6月

○開催場所

- 京王線の各駅前広場、商業施設等、京王線地下化後に整備した道路等 計11会場

○開催時間

- 午前10時から午後7時までのうちの2時間

○意見者数

- 190人
(会場182人、web: 8人)

○実施手法

- 説明パネルを展示して、道路網計画の検討内容について情報提供
- 市職員が、対面形式で市民の皆さんと意見交換を実施

○周知手法

- 市報ちようふ、市ホームページに開催日時を掲載
- 市役所等の公共施設に開催日時のポスターを掲示、チラシを配架
- 調布FMラジオでの周知、デジタルサイネージを活用したパネル掲示
- 市公式X、LINEによる周知

表 第2回みちの井戸端会議（令和7年5月から6月）
開催状況

施設		実施日	実施時間帯	来場者数
駅前広場	つつじヶ丘駅	5/26(月)	17:00～19:00	37人
	仙川駅	5/28(水)	17:00～19:00	32人
		5/31(土)	10:00～12:00	11人
	調布駅	5/31(土)	10:00～12:00	21人
		6/3(火)	17:00～19:00	21人
	西調布駅	6/2(月)	17:00～19:00	12人
商業施設等	飛田給駅	6/5(木)	17:00～19:00	11人
	深大寺	5/27(火)	13:00～15:00	6人
	DCM調布店	5/31(土)	14:30～16:30	13人
	イトーヨーカドー国領店	6/7(土)	10:00～12:00	9人
整備した道路	キテラタウン調布	6/7(土)	10:00～12:00	43人
	てつみち	5/29(木)	13:30～15:30	20人
	鉄道敷地パークレット	6/4(水)	14:00～16:00	31人
多摩川お散歩	多摩川（多摩川児童公園自由広場付近）	5/31(土)	14:30～16:30	荒天中止
合計				267人



写真 鉄道敷地パークレットでの開催状況



写真 デジタルサイネージを活用した説明パネルの掲示状況

・道路ユーザーヒアリング

「道路網構築の目標・視点」の確認、道路網構築の視点の評価基準で使用する「救急車が広域的な移動に使用する路線」、「救急車の主な搬送先」、「消防活動時に使用する路線」、「歩行者事故が多い路線」を確認することを目的に実施しました。

○対象団体

- 日頃の業務で市内の道路を運転、利用する企業、団体を選定

○実施時期

- 令和7年4月～10月

○主なヒアリング事項

- 道路等の利用特性
- 利用者ニーズ（道路に関する困りごと）
- 個別路線に対する意見

表 道路ユーザーヒアリングの対象団体

No	分野	ヒアリング対象
1	交通	小田急バス（株）
2		京王バス（株）
3		タクシー協議会 (京王タクシー(株))
4	防災 ・ 安全	調布警察署
5		調布消防署
6		調布市交通安全協会
7	物流	東京都トラック協会 (多摩支部)
8		調布郵便局
9	福祉 ・ 高齢者	調布市社会福祉協議会
10	子ども ・ 教育	園児交通安全防犯連絡会
11		調布市公立学校 PTA連合会
12		調布市立幼稚園 PTA連合会

・第3回みちの井戸端会議

第3回みちの井戸端会議では、道路の整備優先度や整備プログラムの考え方に対するご意見を伺いました。

7会場で計8回のオープンハウスを実施し、来場者数は285人、意見者数は112人でした。

○開催時期

- 令和7年10月～11月

○開催場所

- 地域福祉センター、京王線の各駅前広場、商業施設等
計7会場

○開催時間

- 午前10時から午後8時まで
のうちの2時間

○意見者数

- 112人
(会場110人、web: 2人)

○実施手法

- 説明パネルを展示して、道路網計画の検討内容について情報提供
- 市職員が、対面形式で市民の皆さんと意見交換を実施

○周知手法

- 市報ちようふ、市ホームページに開催日時を掲載
- 市役所等の公共施設に開催日時のポスターを掲示、チラシを配架
- デジタルサイネージを活用した開催日時の周知
- 市公式X、LINEによる周知

表 第3回みちの井戸端会議（令和7年10月から11月）
開催状況

施設		実施日	実施時間帯	来場者数
地域福祉センター	深大寺	10/29(水)	18:00～20:00	1人
駅前広場	仙川駅	10/30(水)	18:00～20:00	35人
	調布駅	11/8(土)	10:00～12:00	96人
	西調布駅	11/5(水)	18:00～20:00	20人
等 商業施設	深大寺	10/31(金)	13:00～15:00	19人
		11/1(土)	10:00～12:00	37人
	キテラタウン調布	11/1(土)	14:30～16:30	57人
学校施設	杉森小学校	11/7(金)	17:30～19:30	20人
合計				285人



写真 駅前広場での開催状況



写真 商業施設での開催状況

(5) 意見の整理方法

いただいたご意見のうち、道路に求められる期待やニーズに関する意見、道路網計画改定の進め方、市民との関わり方に関する意見を「市内の道路に関しておもうこと・検討の進め方」に分類し、道路網構築の目標や視点などの内容に関する意見を「道路網構築の目標や視点に対する意見」、「道路の整備優先度や整備プログラムの考え方に対する意見」に分類しました。

また、「市内の道路に関しておもうこと・検討の進め方」は、安全性、定時制、アクセス性、代替性、防災性、住環境、計画、検討の進め方に分類しました。

さらに、意見内容が近いものを中分類、中分類の中でニーズが近いものを小分類としました。

これにより、市民が道路に期待している役割は何か、どのように道路を利用したいのかがわかるよう整理しています。詳細は、『参考5 「市内の道路に関しておもうこと・検討の進め方』の分類』をご覧ください。

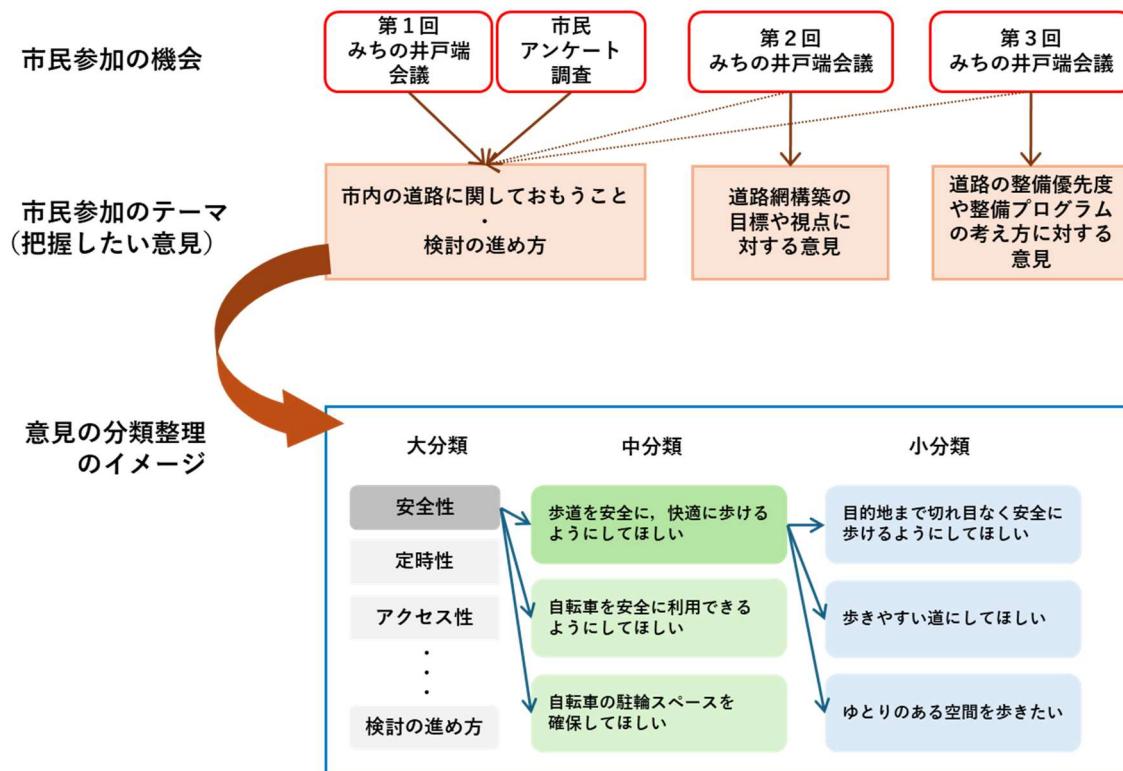


図 市民参加で把握した意見の整理方法

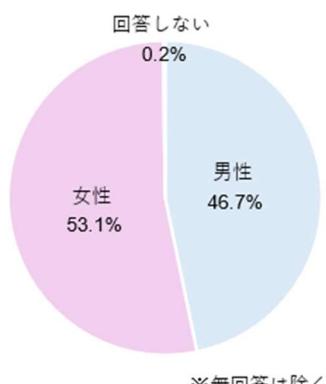
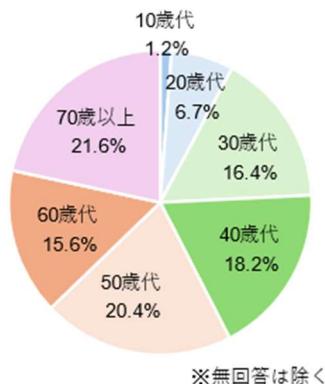
2. 市民参加の結果

道路網計画の改定に当たり実施した市民参加について、市民参加手法毎に結果をとりまとめました。詳細な結果については、参考資料をご覧ください。

(1) 第1回みちの井戸端会議

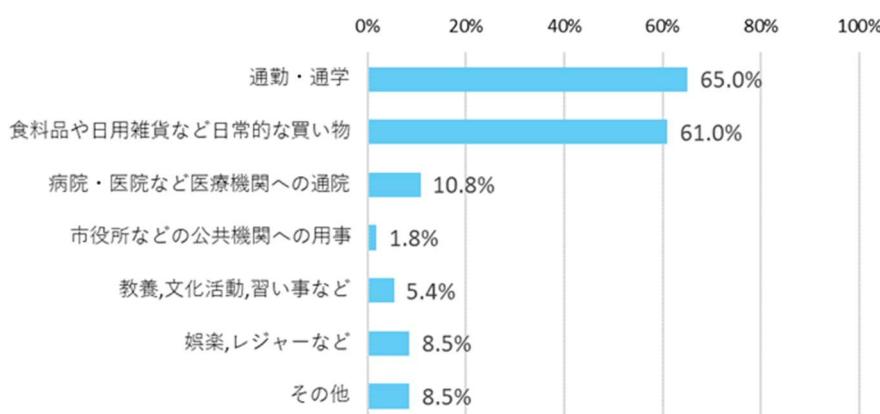
①回答者の属性

●年齢および性別

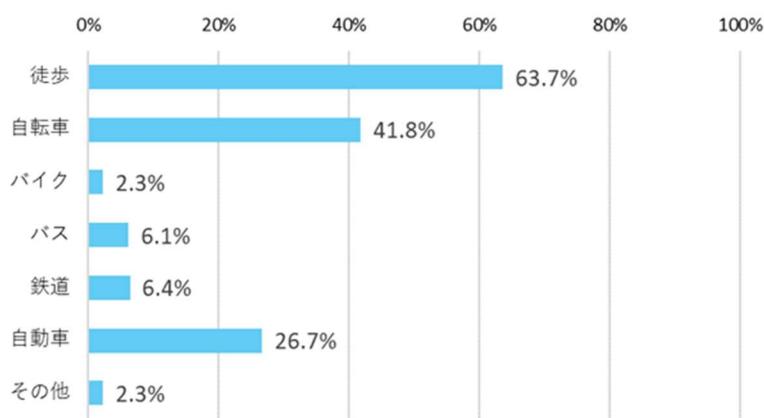


②道路の利用状況

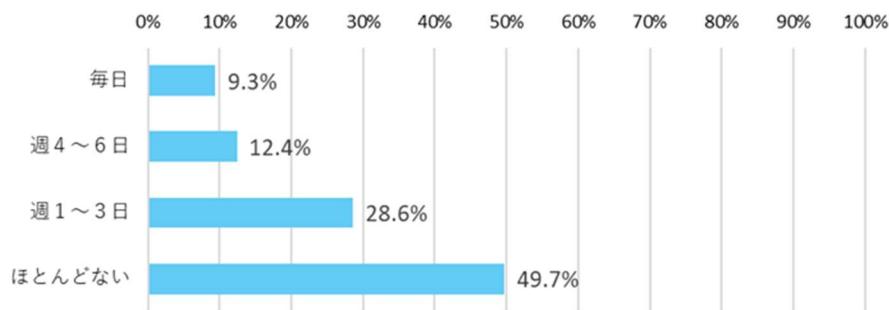
●市内の道路を日常的に利用する「主な目的」



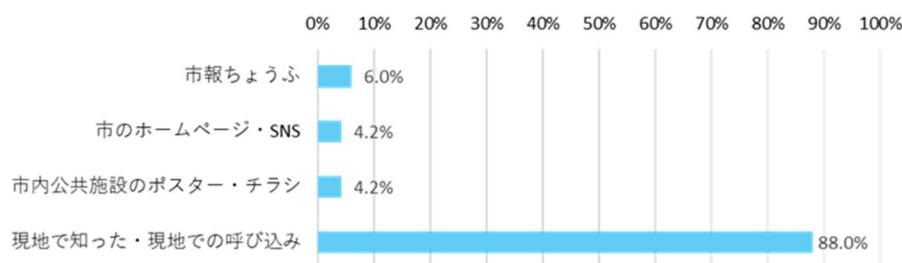
●市内の道路を日常的に利用する「主な移動手段」



●自動車の運転頻度



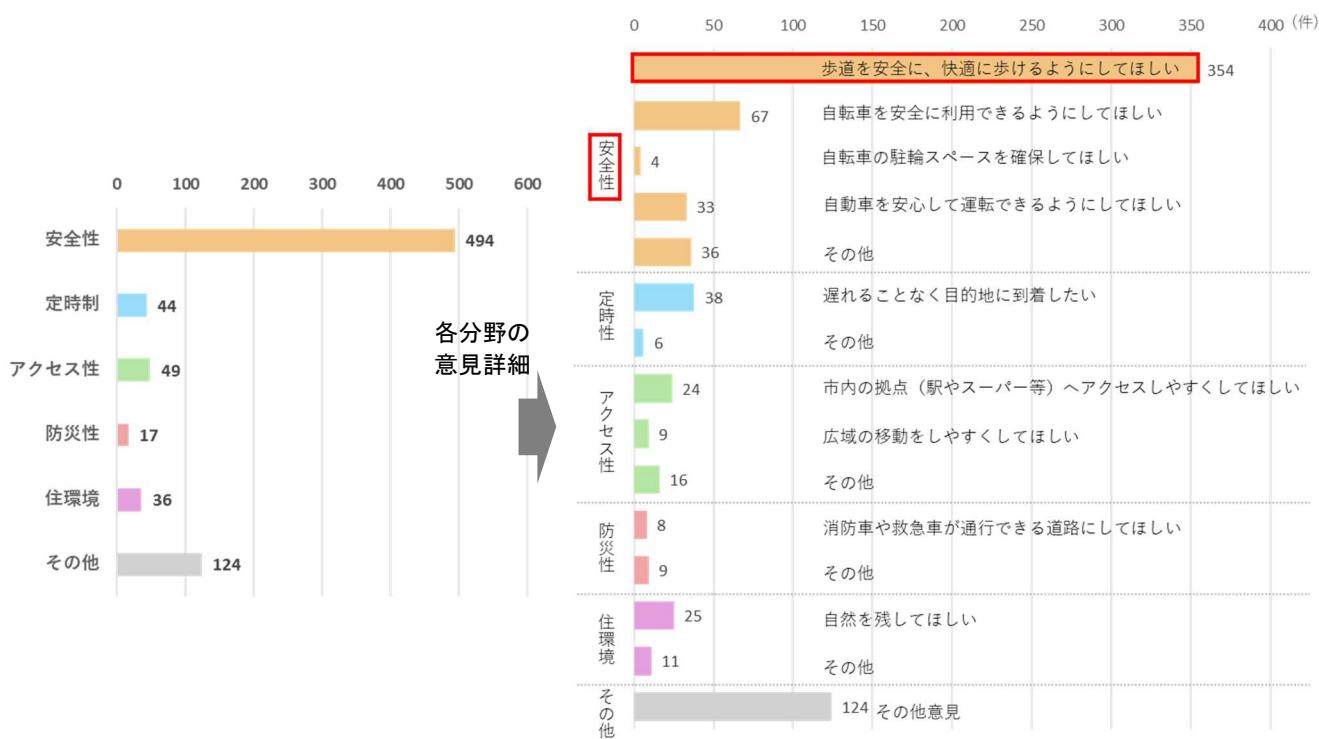
③みちの井戸端会議の開催の情報源



④意見内容

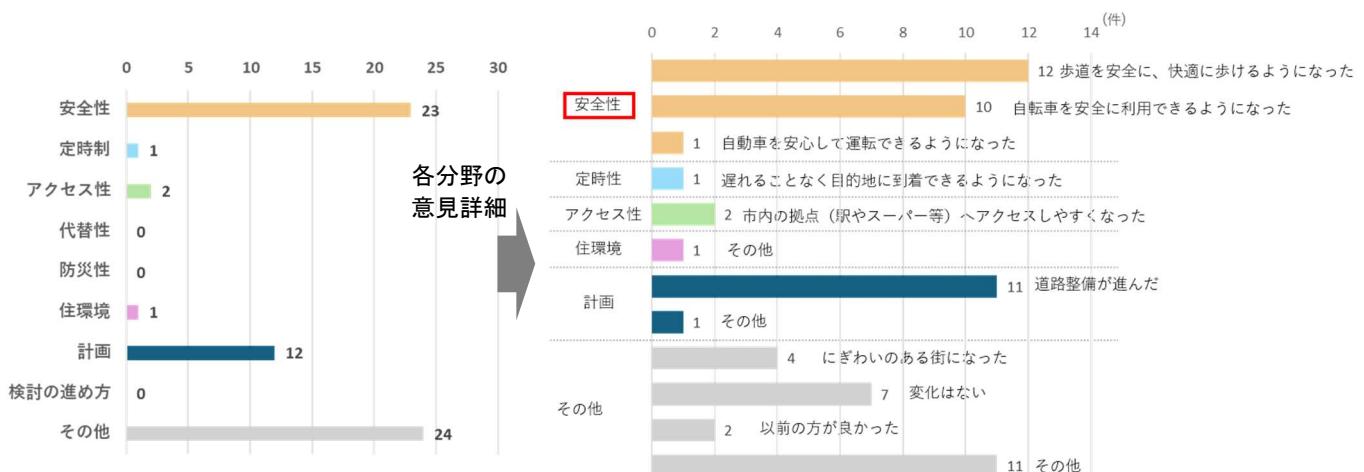
【設問】日ごろ道路を利用する際に、何か問題や心配なこと、改善してほしいことなどはありますか。

- 安全性に対する意見が最も多く、その中でも、「歩道を安全に、快適に歩けるようにしてほしい」との意見が多く寄せられました。



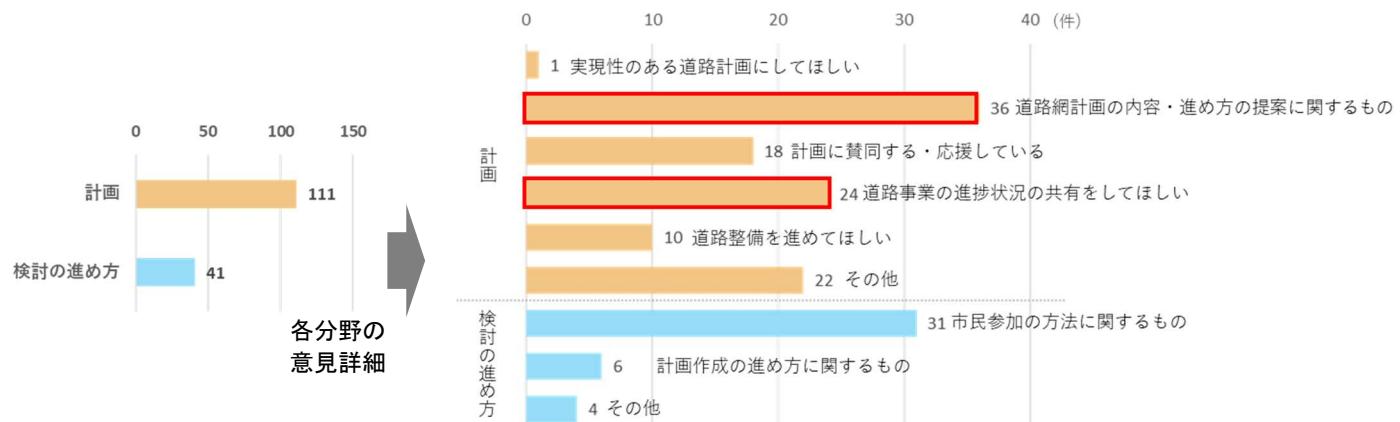
【設問】道路について、10年前から変わったと感じることはありますか。

- 安全性に関する意見が多く寄せられました。



【設問】道路網計画の改定の進め方や市民との関わり方について教えてください。

- 「道路網計画の内容・進め方の提案に関するもの」、「道路事業の進捗状況を共有してほしい」など、計画に関する意見が多く寄せられました。



(2) 市民アンケート調査

①回答者の属性（平成26年度との比較）

■令和6年度調査結果

各年代、性別から概ね偏りなく回答が得られました。

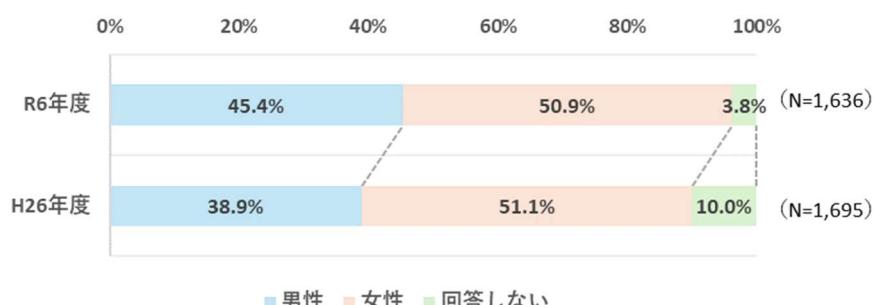
■平成26年度調査結果との比較

特に、20歳代の層の回答割合が増加しました。

●年代別回答割合



●性別回答割合



②道路の利用状況に関する情報（平成 26 年度調査との比較）

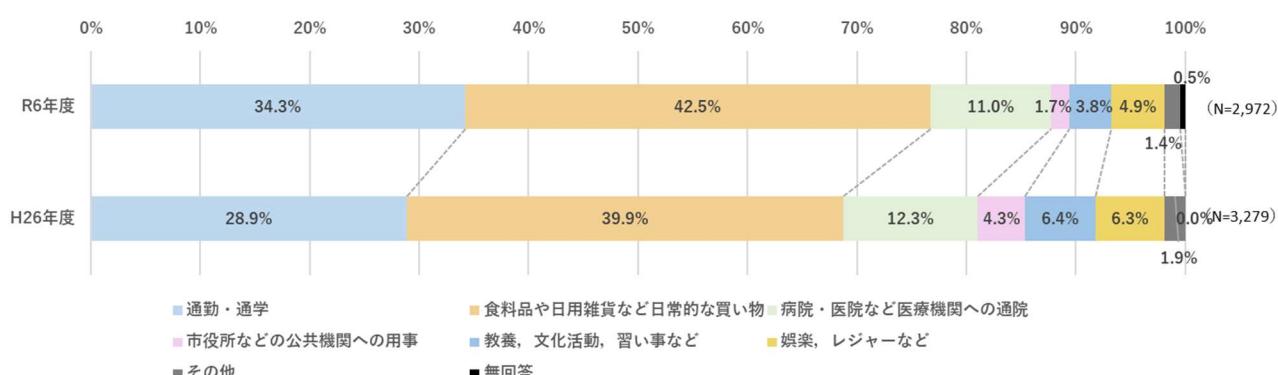
■令和 6 年度調査結果

「市内の道路を日常的に利用する主な移動手段」では、徒歩・自転車が大半を占めました。

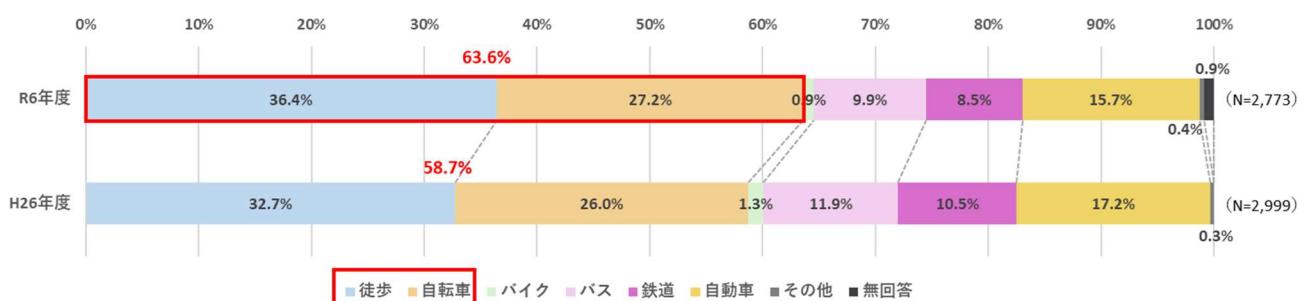
■平成 26 年度調査結果との比較

「自転車の運転頻度」は、ほとんどないという回答が増加しました。

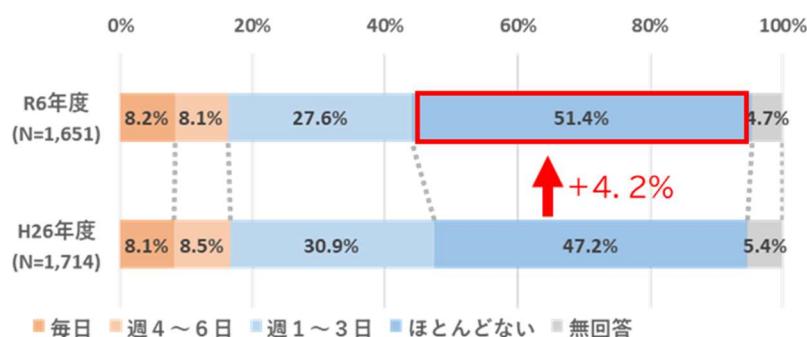
●市内の道路を日常的に利用する「主な目的」



●市内の道路を日常的に利用する「主な移動手段」



●自動車の運転頻度



③意見内容

【設問】日常的に利用している道路、お住まい周辺の道路整備の状況について、どのように感じていますか。

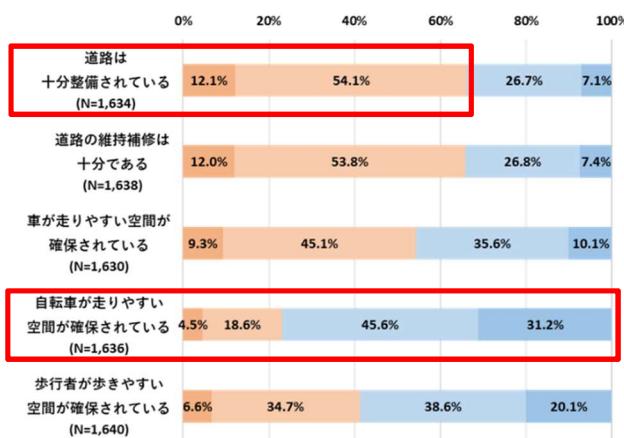
■令和6年度調査結果

「自転車が走りやすい空間が確保されている」について、あまり思わない、思わないという評価が多く見られました。

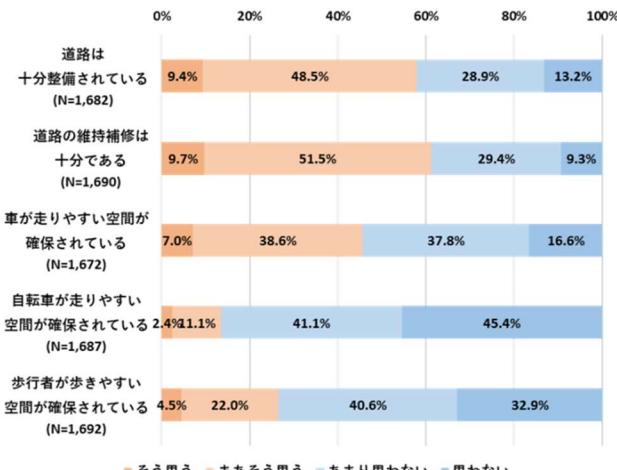
■平成26年度調査結果との比較

「道路は十分整備されている」について、そう思う、まあそう思うという評価が増加しました。

〈R6年度調査〉



〈H26年度調査〉



【設問】普段のくらしの中で、それぞれの道路の役割について、どのように感じていますか。

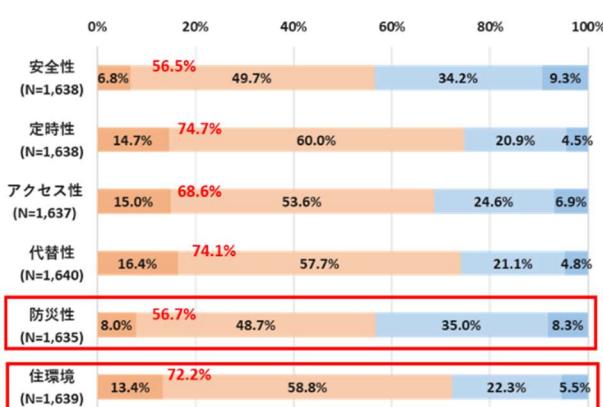
■令和6年度調査結果

全ての項目で、満足している、どちらかと言えば満足しているという評価が半数を超えるました。

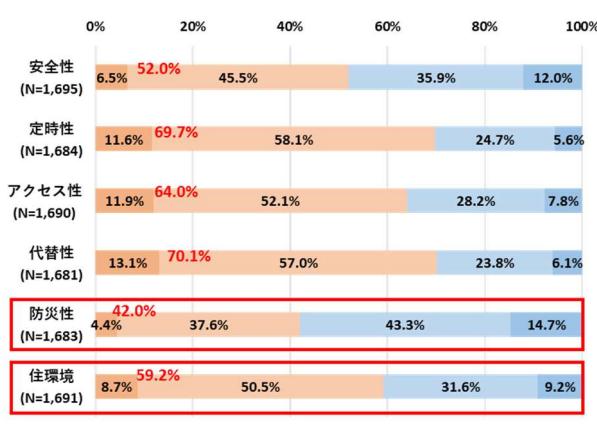
■平成26年度調査結果との比較

防災性、住環境の項目において、満足している、どちらかといえば満足しているという評価が特に増加しました。

〈R6年度調査〉



〈H26年度調査〉



【設問】前問で、特に困っている項目を3つまで選んでください。

■令和6年度調査結果

安全性に対する項目が多く見られました。

■平成26年度調査結果との比較

歩道が少ない、または狭いという意見は減少しました。一方で、徒歩、自転車などで道路を通行する際に危険な場面があるという意見が特に増加しました。



※安全性②の項目のみR6年度とH26年度で内容が異なる

〈意見内訳〉

項目		意見数
安全性 (2,302件)	歩道が少ない、または狭い。	787
	徒歩、自転車などで道路を通行する際に危険な場面がある。	1,160
	路上に停車している車が通行動線を妨げている。	355
定時性 (451件)	道路が混むため、バスで時間どおりに移動できない。	235
	道路が混むため、車での移動に時間がかかる。	216
アクセス性 (278件)	道路が狭く、最寄りの駅に行きにくい。	98
	道路が狭く、車による移動が不便である。	180
代替性 (357件)	雨の日などバスを利用したいこともあるが、バス路線が充実していない。	286
	目的地までの迂回ルートが十分確保されていない。	71
防災性 (336件)	火災が発生すると、燃え広がりそうで心配である。	177
	道路が狭く、消防車や救急車が通れない。	159
住環境 (196件)	道路が狭く、居住環境（通風や日照など）が悪い。	67
	緑が少なく、うるおいがない。	129
合計		3,920

【設問】道路整備に対してどのくらい満足していますか。

■令和6年度調査結果

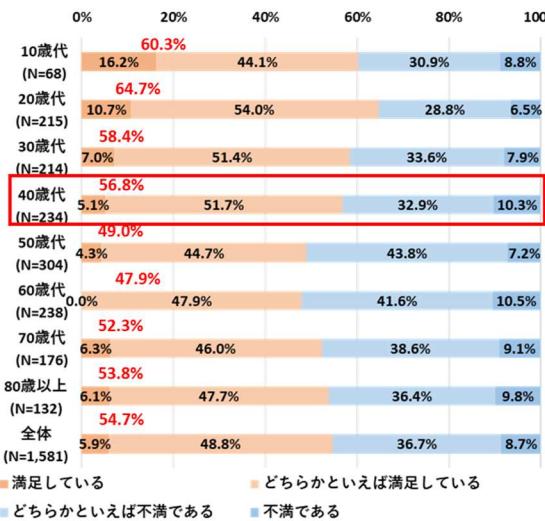
多くの年代で、満足している、どちらかといえば満足しているという評価が半数を超えるました。

■平成26年度調査結果との比較

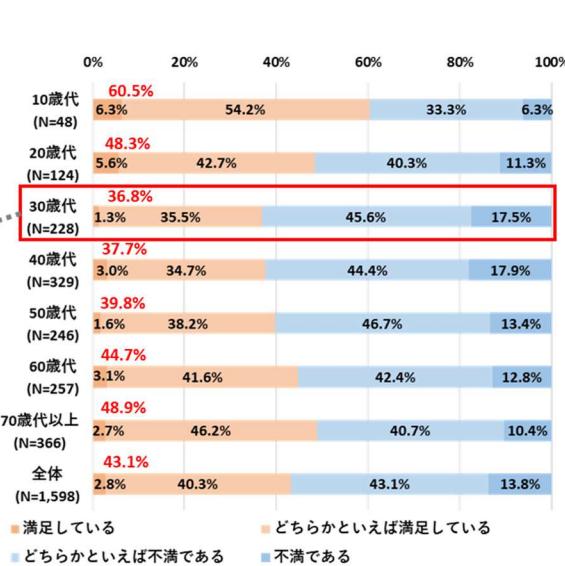
特に40歳代（平成26年度調査で30歳代の層）の満足度が他の年代と比べて上昇しました。

〈R6年度調査結果〉

(赤字は満足・どちらかといえば満足の合計値)



〈H26年度調査結果〉



【設問】これからの道路計画で配慮すべき事項について、どの程度重要だと思いますか。

■令和6年度調査結果

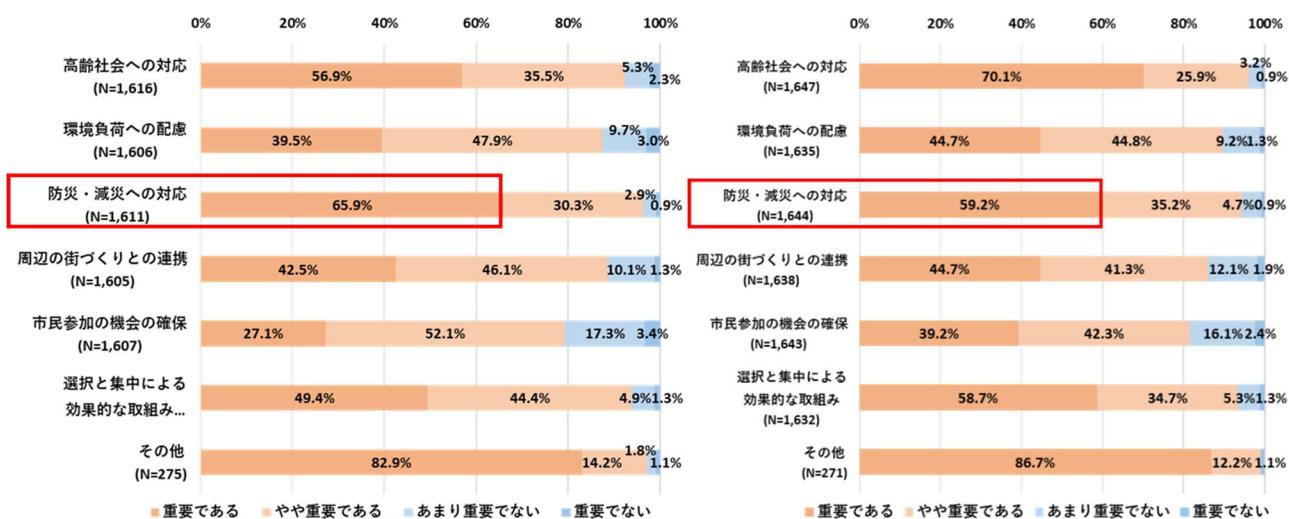
すべての項目で重要である、やや重要であるという評価が大半でした。

■平成26年度調査結果との比較

防災・減災への対応について、重要であるという評価が増加しました。

〈R6年度調査結果〉

〈H26年度調査結果〉



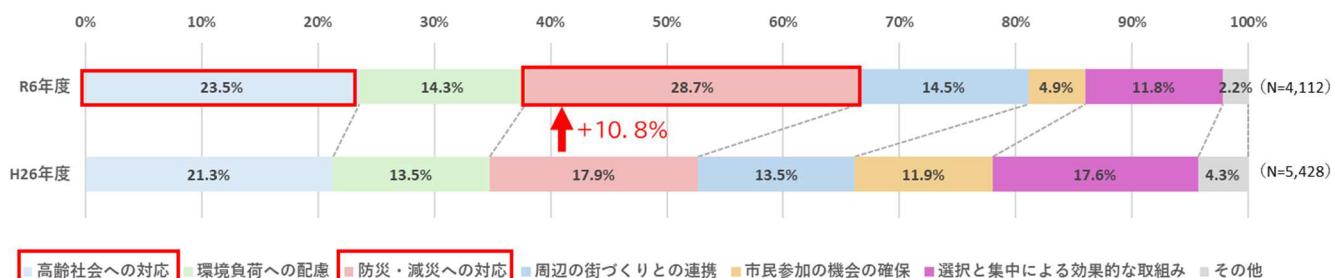
【設問】前問で、特に重要だと思う事項を3つまで選択して回答してください。

■令和6年度調査結果

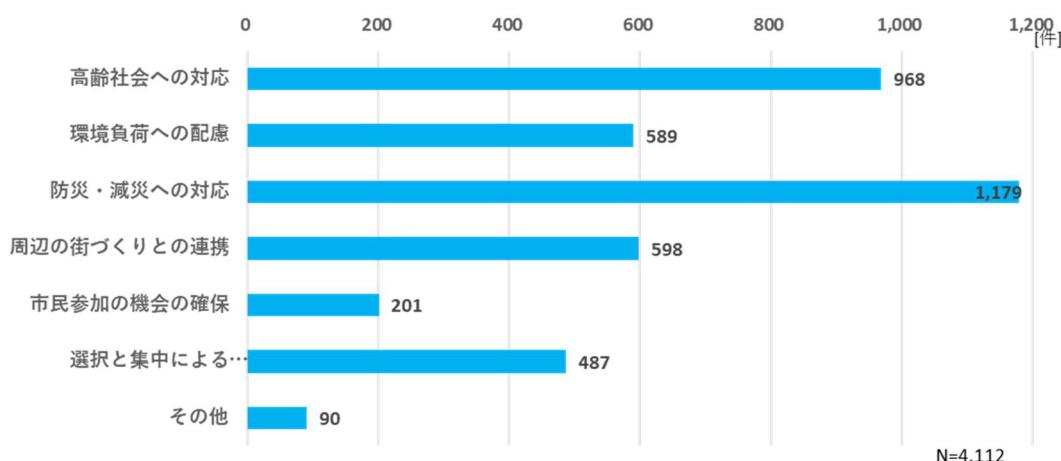
防災・減災への対応、高齢社会への対応が多くなりました。

■平成26年度調査結果との比較

防災・減災への対応が最も増加しました。



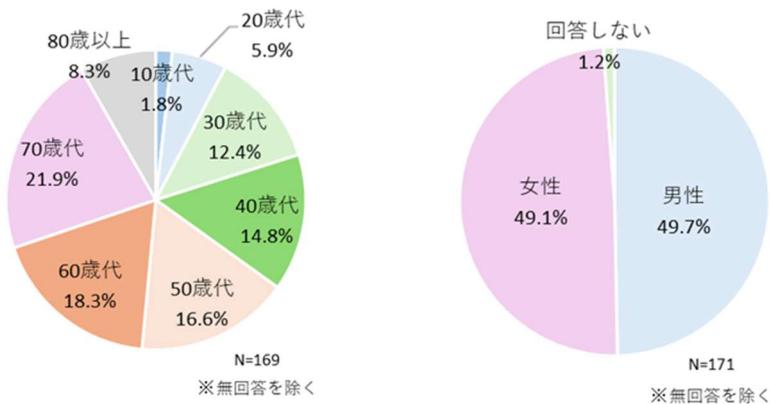
〈意見内訳〉



(3) 第2回みちの井戸端会議

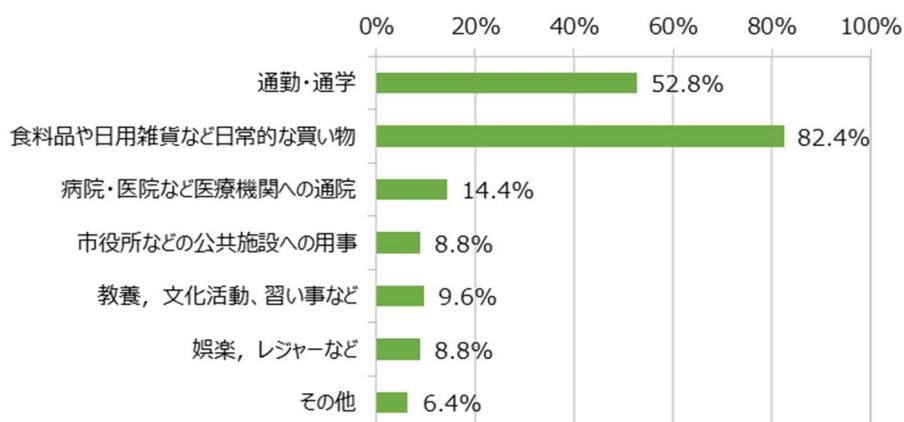
①回答者の属性

■年齢及び性別

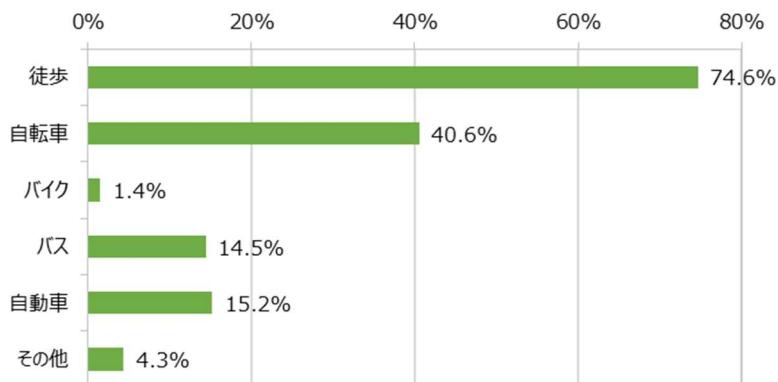


②道路の利用状況

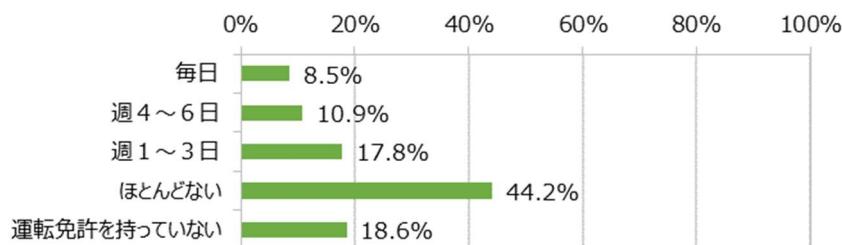
■市内の道路を日常的に利用する「主な目的」



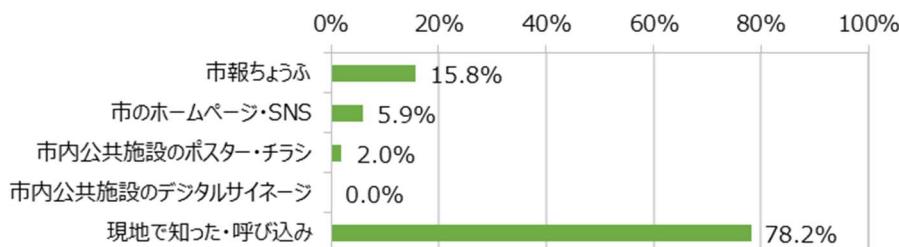
■市内の道路を日常的に利用する「主な移動手段」



■自動車の運転頻度



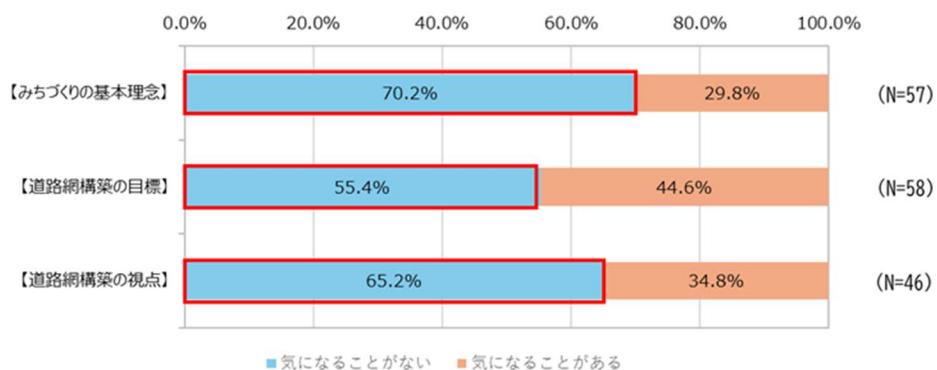
③みちの井戸端会議の開催の情報源



④意見内容

【設問】みちづくりの基本理念、道路網構築の目標、道路網構築の視点について、気になることはありますか。

■各項目とも気になることがないというご意見が大半でした。



【設問】みちづくりの基本理念、道路網構築の目標、道路網構築の視点に関するご意見はありますか。

■各項目とも「快適・便利・安全」に関するご意見が多く寄せられました。

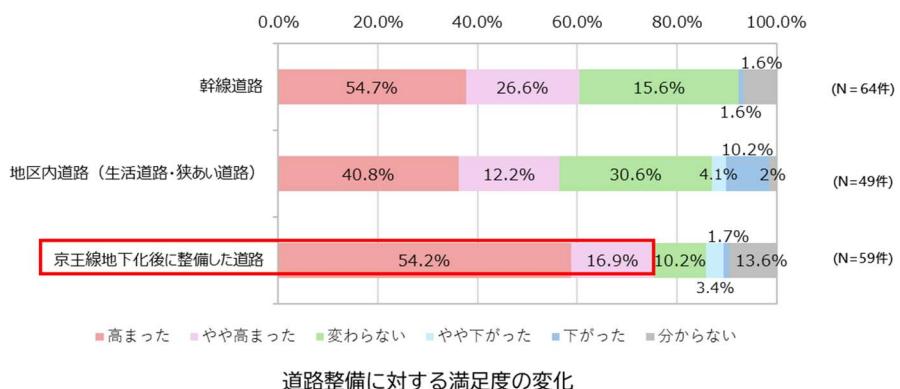


なお、道路網構築の目標や視点の考え方に関する意見要旨は以下のとおりでした。

分類	意見要旨
快適・便利・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全性を重視してほしい ・ 自転車の観点をいれてほしい ・ 様々な立場（子ども、高齢者、障がい者など）の観点を入れてほしい
防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災・減災を重視してほしい ・ 平時、災害時ともに機能する道路にしてほしい
活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流についての検討をしてほしい
環境・住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ みどりの観点を配慮してほしい
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の必要性・優先性を検討してほしい

【設問】「幹線道路」、「地区内道路（生活道路・狭あい道路）」、「京王線地下化後に整備した道路」について、10年前と現在を比較した際に、道路整備に対する満足度は変化しましたか。

■すべての道路種別において、満足度が高まった、やや高まったという意見が半数を超えるました。特に京王線地下化後に整備した道路の満足度が高いという結果になりました。

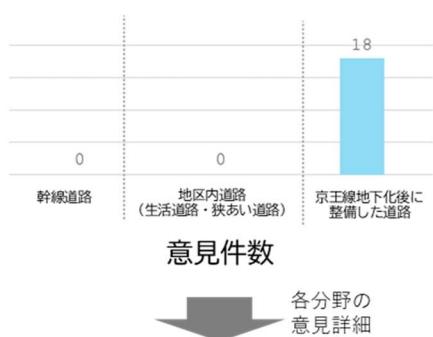


【設問】前問について、特筆すべき内容を教えてください。

■京王線地下化後に整備した道路について、全体的に良い空間になった、通行しやすくなったなどの意見が寄せられました。

■幹線道路、地区内道路（生活道路・狭あい道路）について、歩行者・自転車の安全性向上に関する要望などが寄せられました。

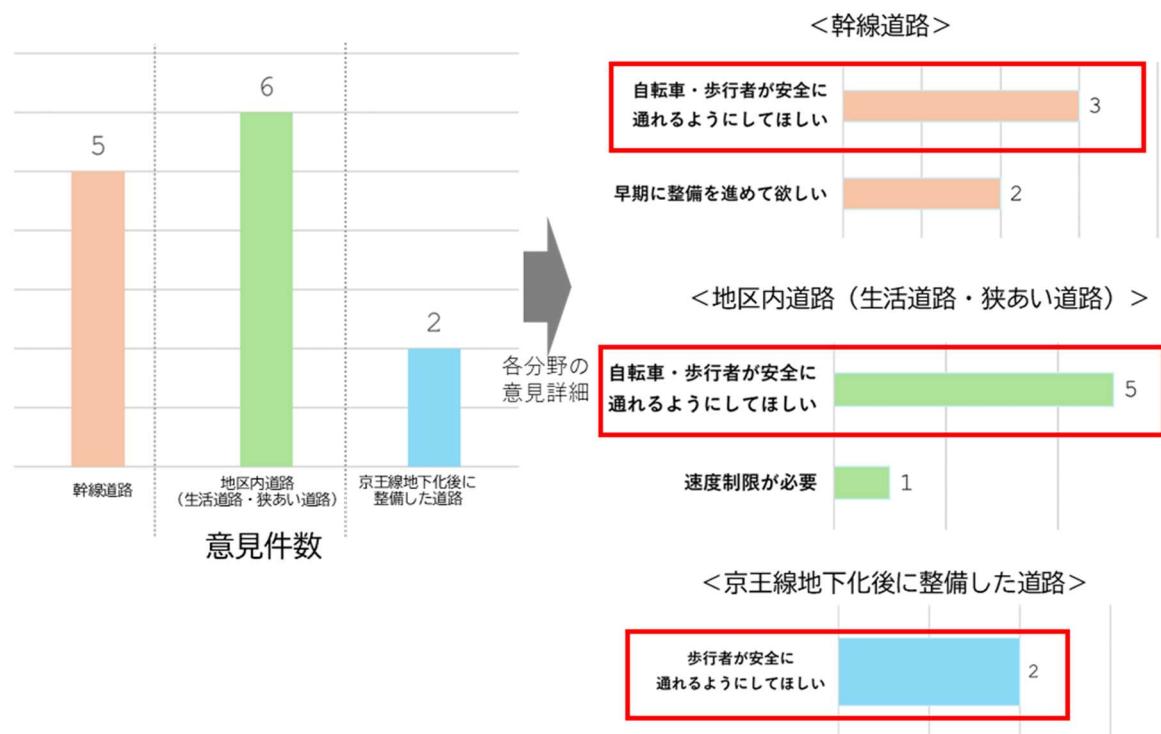
●道路整備に対する特筆すべき内容（良くなつた点）



<京王線地下化後に整備した道路>

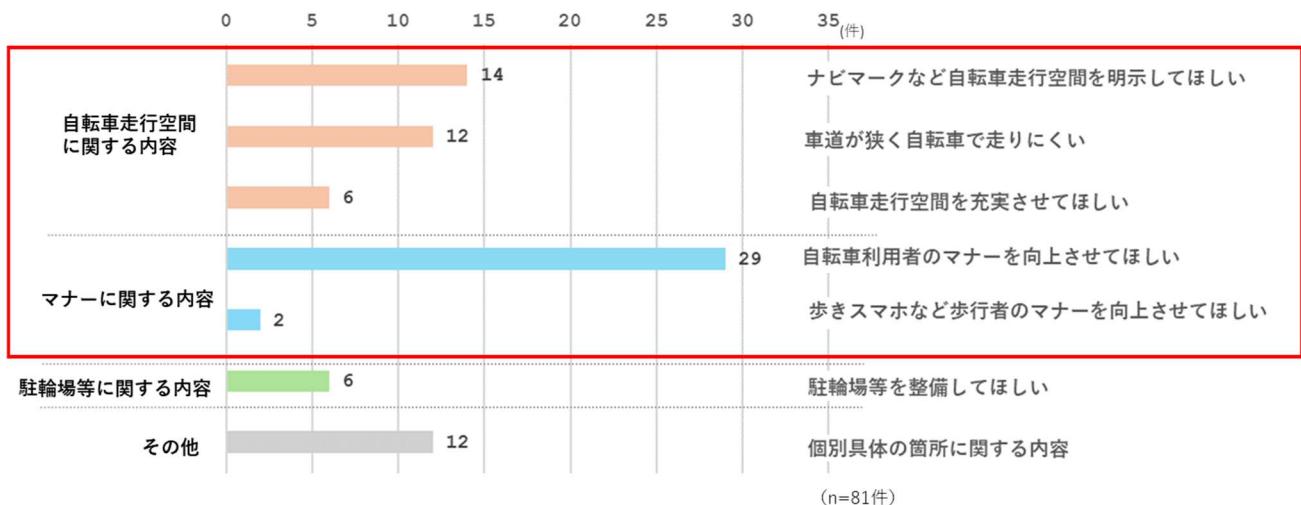


●道路整備に対する特筆すべき内容（要望）



【設問】普段、自動車を利用する際に感じること、自転車利用者に対して感じることを教えてください。

■自転車走行空間に関する内容やマナーに関する意見が多く見られました。



(4) 道路ユーザーヒアリング

①道路ユーザーのニーズ

道路ユーザーヒアリングでは、道路ユーザーのニーズ、道路網構築の視点の評価基準についてヒアリングを実施しました。

目標	道路網構築の視点	意見内容	意見主体
快適 ・ 便利 ・ 安全	道路混雑の解消	・右折待ちによる渋滞が発生する交差点が存在する。	複数事業者
		・道路が混雑する時間帯の送迎は定時性が確保できない。	社会福祉協議会
	歩行者、自転車の 安全性・快適性の 向上	・歩道に電柱があると、幅が狭くなるため車いすで通行するのに苦労する。 ・歩行空間は、車いすと目の不自由な方が十分にすれ違える幅があるといい。	社会福祉協議会
		・片側だけでも歩道があるといい。人が十分すれ違える幅員が必要。 ・歩道幅員が狭い箇所に電柱があると、すれ違いが困難になる。傘を差しているときは、接触する可能性もある。	公立学校 PTA 連合会
		・通学路はカラー舗装や、注意喚起の表示があるといい。	私立幼稚園 PTA 連合会
		・散歩経路は車通りが少なく、歩道やガードレールがある路線がいい。 ・カラー舗装がしてあると、歩行する箇所を園児が認知しやすい。	園児交通安全 防犯連絡会
		・駅周辺の人通りが多い時間を通行する場合もあるため、通勤・通学等の時間に合わせた通行規制が必要。 ・幹線道路が渋滞し、生活道路に通過交通の車両が流入している。	タクシー協会
		・交差点の形状や、信号制御が複雑なため歩行者が飛び出す交差点が存在。	小田急バス 交通安全協会
防災 ・ 減災	災害時の輸送性、 移動性の向上	・幹線道路や交差点で常時混雑している路線があり、時間を要してしまう。	調布消防署
		・東西方向は移動がしやすいが、南北方向に幅員が広い路線が少ない。	トラック協会
活性化	にぎわいの創出	・大型のマンションが増えており、配達件数が増加している。配達にも時間がかかるており、周辺に荷捌きスペースがあると配達もスムーズになる。	調布郵便局

②道路網構築の視点の評価基準について

道路網構築の視点の評価基準について、ヒアリングを行いました。

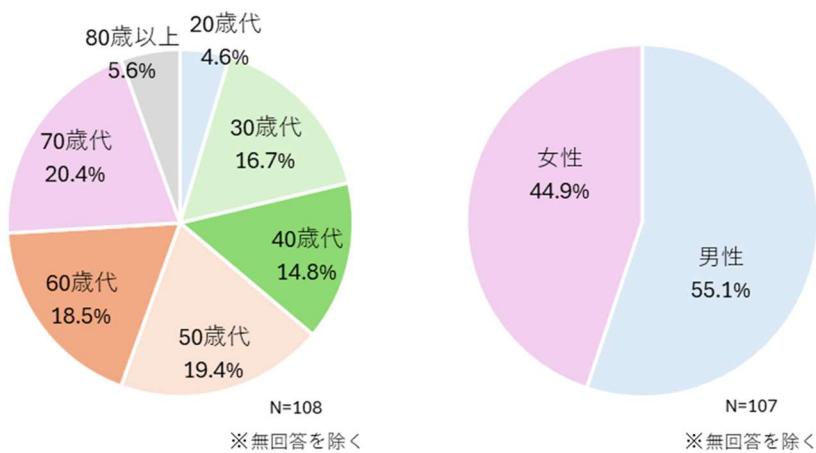
下表で整理したヒアリング結果をもとに、路線の抽出を行いました。

目標	道路網構築の視点（評価基準）	意見（利用者からの要望）	意見主体
快適 ・ 便利 ・ 安全	<p>【広域道路網の評価基準】 救急車が広域的な移動に利用する路線 主要路線と救急搬送先を結ぶ方向別の最短経路</p> <p>【地区内道路網の評価基準】 消防活動時に必要な路線</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地図に現計画策定時の路線抽出箇所を記入し、過不足等がないか確認。 <p>【主な搬送先】</p> <p>【調布市】調布病院、東山病院、慈恵第三病院 【府中市】榎原記念病院 【三鷹市】杏林大学病院 【世田谷区】至誠会第二病院</p> <ul style="list-style-type: none"> 通行ルートは、幹線道路を目指し現場近くで生活道路を利用する。 	調布消防署
	【広域・地区内道路網の評価基準】 歩行者事故が多い路線	<ul style="list-style-type: none"> 事故の多い路線については、被害者の特定などの恐れがあることからお伝えできない。事故の箇所は、警視庁 HP に交通事故マップがあるので、そちらを参考にすること。 	調布警察署

(5) 第3回みちの井戸端会議

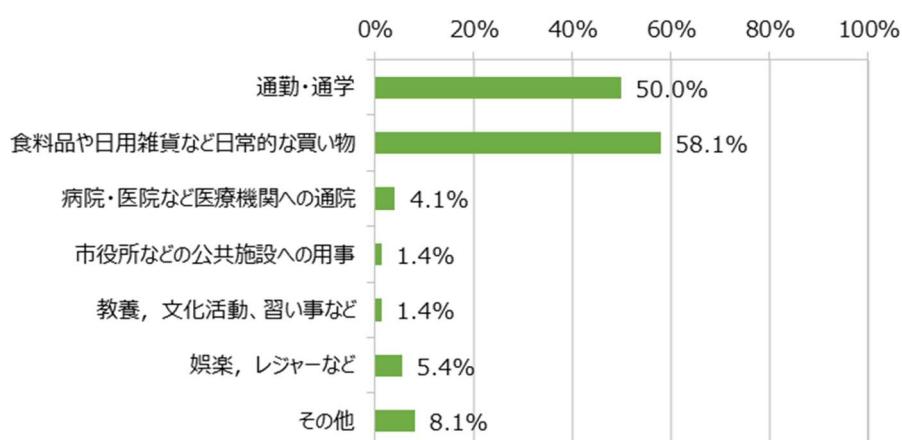
①回答者の属性

■年齢及び性別

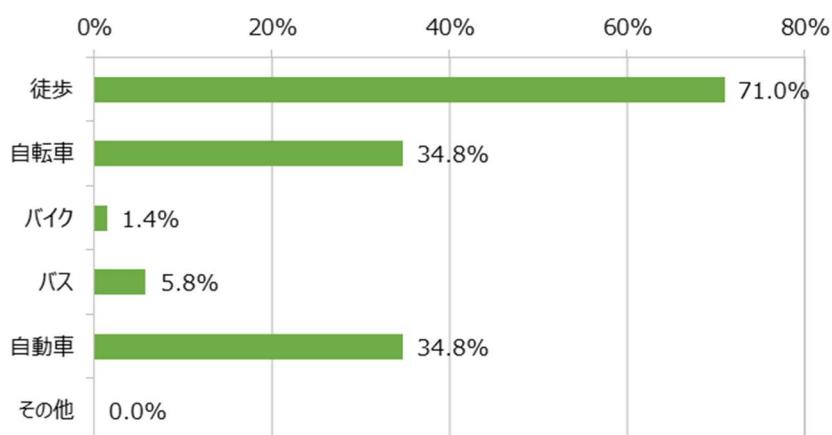


②道路の利用状況

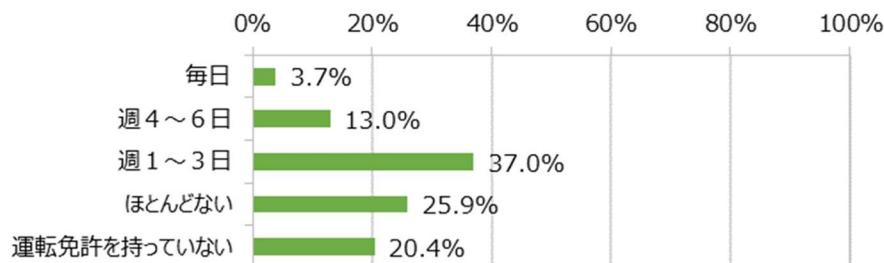
■市内の道路を日常的に利用する「主な目的」



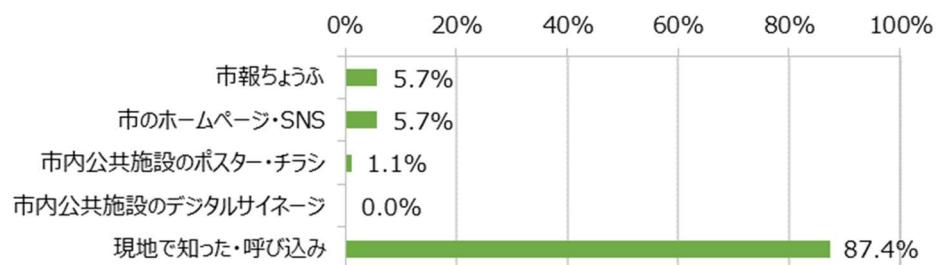
■市内の道路を日常的に利用する「主な移動手段」



■自動車の運転頻度



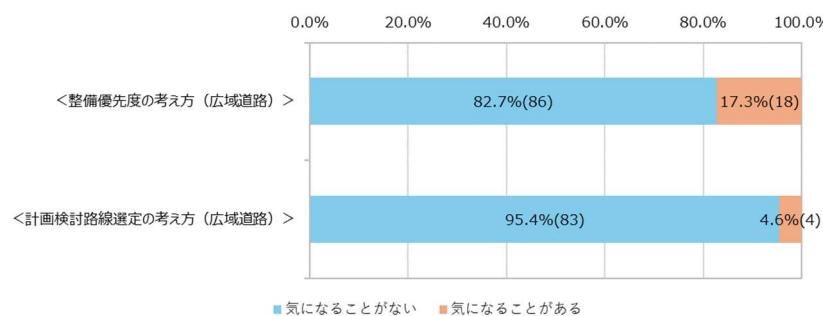
③みちの井戸端会議の開催の情報源



④意見内容

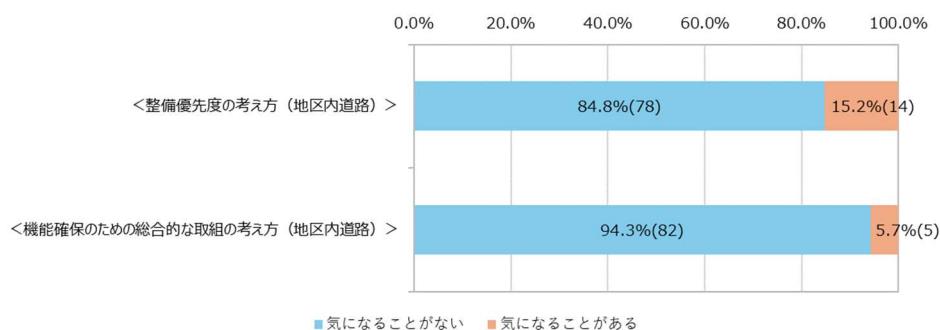
【設問】整備優先度の考え方（広域道路）、計画検討路線の考え方（広域道路）について、気になることはありますか。

■各項目とも、「気になることがない」という意見が大半でした。



【設問】整備優先度の考え方（地区内道路）、機能確保のための総合的な取組の考え方（地区内道路）について、気になることはありますか。

■各項目とも、「気になることがない」という意見が大半でした。



3. 道路網計画への反映

(1) 市内の道路に関しておもうこと・検討の進め方に関する意見

第1回～3回みちの井戸端会議及び市民アンケート調査における、道路に関する問題点や心配なことに対する意見は、「道路網計画の目標」で分類した上で、「道路網構築の視点」（評価視点）を検討するための参考としました。

意見の分類（中分類）	道路網構築の目標	道路網構築の視点
歩道を安全に・快適に歩けるようにしてほしい		歩行者・自転車の安全性・快適性の向上
自転車を安全に利用できるようにしてほしい		
自動車を安心して運転できるようにしてほしい	快適 ・ 便利	
駐輪スペースを確保してほしい		鉄道駅へのアクセス性向上
市内の拠点へアクセスしやすくしてほしい		
広域移動をしやすくしてほしい		
遅れることなく目的地に到着したい		鉄道駅へのアクセス性向上及び道路混雑の解消
消防・救急が通行できる道路にしてほしい		救急搬送時のアクセス性向上
複数の経路で行けるようにしてほしい		
複数の交通手段で行けるようにしてほしい	防災 ・ 減災	災害時の輸送性・移動性の向上
火災時に燃え広がらないようにしてほしい		延焼遮断機能の形成
にぎわいのある街にしてほしい	活性化	にぎわいの創出
居住環境に配慮してほしい		住みやすいまちの形成
自然を残してほしい	環境 ・ 住環境	都市の脱炭素化の推進
実現性のある道路計画にしてほしい		(効率性は視点の設定はありませんが、道路の必要性や整備優先度等を定期的に確認することで、効率的かつ、効果的なみちづくりを進めていきます。)
道路整備を進めて欲しい	効率性	

(2) 道路網構築の目標や視点に対する意見

第2回みちの井戸端会議でいただいた意見のうち、「みちづくりの基本理念」、「道路網構築の目標」、「道路網構築の視点」に対する意見については、「道路網構築の目標」で分類した上で、「道路網構築の視点」(評価視点)の妥当性を確認しました。

① 道路網構築の目標に関する意見について

意見の要旨	道路網構築の目標の確認
道が狭くて、自転車で通行しにくい。	道路網構築の目標「快適・便利・安全」のうち、歩行者や自転車利用者など、自動車以外の移動空間の充実の妥当性について確認しました。
自転車の走行空間を確保して欲しい。	
歩行者が安全に通行できる歩道にしてほしい。	
障害者や高齢者に優しい歩行空間が欲しい。	
防災に配慮して欲しい。	道路網構築の目標「防災・減災」のうち、近年高まる災害リスクに備えるため、防災、減災機能を強化したみちづくりの妥当性について確認しました。
防災・減災は大事。	
ゼロカーボンは大事である。	道路網構築の目標「環境・住環境」のうち、脱炭素で生活環境に配慮した、住みやすいまちを形成するみちづくりの妥当性について確認しました。
並木道があると良い。	

② 道路網構築の視点に関する意見について

意見の要旨	道路網構築の視点の確認
駅周辺のネットワーク化をしてほしい。	道路網構築の視点「鉄道駅へのアクセス向上」のうち、鉄道駅周辺においては、歩行者と自転車の錯綜が懸念されるため、歩車分離を図る道路ネットワーク形成の妥当性を確認しました。
道路の混雑、渋滞を解消して欲しい。	道路網構築の視点「道路混雑の解消」については、整備効果の検証をするシナリオを設定し、効果を確認しました。(技術検討レポート p.4-21～4-33参照)
子ども、高齢者が安全に歩行できる空間が欲しい。	道路網構築の視点「歩行者、自転車の安全性・快適性の向上」のうち、児童や歩行者、自転車利用者の安全性の確保の妥当性を確認しました。
歩行者が安全に歩くことができる道がほしい。	
自転車空間を整備して欲しい。	
災害時に緊急車両が動ける道にしてほしい。	道路網構築の視点「災害時の輸送性、移動性の向上」のうち、災害発生直後から、道路啓開等を早急に実施し、人命の安全確保、被害の拡大防止、活動人員や物資輸送を円滑に実施することの妥当性を確認しました。
環境への配慮のため緑は残してほしい。	道路網構築の視点「都市の脱炭素化の推進」のうち、都市の脱炭素化の推進に当たっては、二酸化炭素排出量を低減するだけでなく、緑化などによる二酸化炭素吸収の促進の妥当性を確認しました。
自然環境は破壊しないでほしい。	
住民が暮らしやすくなるようにしてほしい。	道路網構築の視点「住みやすいまちの形成」のうち、地域住民の地域活動や生活に密接に関連した路線を、安全かつ快適に使えるようにすることの妥当性を確認しました。

(3) 道路ユーザーの意見

道路ユーザーからいただいた意見については、道路ユーザーのニーズを「道路網構築の目標」で分類した上で、「道路網構築の視点」（評価基準）の妥当性を確認しました。

また、道路網構築の視点の評価基準について、該当する団体に聴き取りを行い、路線抽出を実施しました。

意見の分類	対応
道路ユーザーのニーズ	<ul style="list-style-type: none">「道路網構築の視点・目標」の確認 (p. 2-16)
道路網構築の視点の評価基準	<ul style="list-style-type: none">評価基準に該当する路線を聴き取り、路線抽出を実施 (p. 2-17)

(4) 道路の整備優先度や整備プログラムの考え方に対する意見

第3回みちの井戸端会議でいただいた「道路の整備優先度や整備プログラムの考え方に対する意見」から、考え方の妥当性を確認しました。

①広域道路、地区内道路の整備優先度の考え方に関する意見について

道路の種類	意見要旨	考え方の確認
広域道路	・道路整備をまちづくりと連携して進めてほしい。	整備優先度の考え方「快適でより便利なまちの形成」のうち、住民発意によるまちづくりと関連する路線の整備の妥当性を確認しました。
	・京王線周辺の整備を連携して進めてほしい。	整備優先度の考え方「地域特性を活かした都市空間の形成」のうち、駅周辺における交通の利便性向上の妥当性を確認しました。
地区内道路	・通学路の安全性向上は重要。	整備優先度の考え方「通学路の安全性向上に資する路線」の妥当性を確認しました。
	・通学路に歩道を設置して欲しい。	整備優先度の考え方「通学路の安全性向上に資する路線」の妥当性を確認しました。
	・校門に限定する必要はないのではないか。	小学校の通学路のうち、校門に面している路線は、各方面から登下校する児童が集中します。そのため、小学校の校門に面している路線のうち、見通しが悪い交差点がある路線などを整備することで、児童が安全に通行できる歩行空間の確保を、整備優先度の考え方「通学路の安全性向上に資する路線」としました。
	・避難に資する路線は重要。 無電柱化を合わせて検討すべき。	地区内道路の整備優先度の考え方「震災や風水害時の避難に資する路線」の妥当性を確認しました。無電柱化については、別途検討をします。

②広域道路の計画検討路線選定の考え方に関する意見について

区分	意見要旨	考え方の確認
計画検討路線選定の考え方	・史跡や自然を守って欲しい。	計画検討路線の選定の考え方「計画線上に国指定史跡があり、かつ史跡の復元等にあたり検討が必要な路線」の妥当性を確認しました。

③地区内道路の機能確保のための総合的な取組の考え方に関する意見について

区分	意見要旨	考え方の確認
機能確保のための総合的な取組の考え方について	・整備可能な箇所から整備を進めていくべき。	市の財政状況に対して効率的・効果的に道路整備ができるよう、今後も検討を進めます。
	・ボトルネック箇所を優先すべき。	地区内道路の機能確保のための総合的な取組の考え方「ボトルネックとなっている区間の解消」の妥当性を確認しました。
	・バス停と電柱が近くて危険。	機能確保のための総合的な取組の考え方「バス待ち環境の改善」の妥当性を確認しました。
	・バス待ち環境を改善してほしい、バス待ちの環境をつくるだけならすぐにできそう。	
	・バス待ち環境の改善の考え方方は良い。	
	・歩行者、自転車の接触を防ぐことが重要。	地区内道路の機能確保のための総合的な取組の考え方「歩行者・自転車の交通事故が多い場所」の妥当性を確認しました。

参考1 市民参加[STEP1] 第1回みちの井戸端会議の結果（詳細）

（1）道路の利用状況に関する結果

■市内の道路を日常的に利用する「主な目的」

	総数	性別			年齢						
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～
通勤・通学	144	75	62	0	4	14	28	34	32	17	4
食料品や日用雑貨など日常的な買い物	135	61	68	1	0	6	20	27	21	25	26
病院・医院など医療機関への通院	23	8	13	1	0	1	3	1	8	2	6
市役所などの公共機関への用事	4	3	1	0	0	0	1	0	1	1	1
教養、文化活動、習い事など	11	3	8	0	0	0	2	3	0	2	4
娯楽、レジャーなど	19	12	6	0	0	1	4	4	3	1	5
その他	19	9	7	0	0	1	3	3	3	1	5

■市内の道路を日常的に利用する「主な移動手段」

	総数	性別			年齢						
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～
歩行	196	86	102	0	4	18	32	29	31	25	41
自転車	130	53	71	1	1	8	23	27	27	13	11
バイク	7	4	3	0	0	0	0	2	1	3	1
バス	19	3	13	1	0	1	2	2	2	2	9
鉄道	20	11	8	0	0	1	0	8	7	2	1
自動車	83	43	36	0	1	5	10	19	18	14	7
その他	7	3	4	0	0	0	2	1	1	2	1

■自動車の運転頻度

	総数	性別			年齢						
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～
毎日	15	5	10	0	0	0	3	0	5	4	2
週4～6日	20	16	4	0	1	2	2	6	5	2	1
週1～3日	46	24	20	0	0	5	6	9	9	9	4
ほとんどない	78	31	43	1	0	5	14	18	17	6	14

※参考1～参考4に掲載している総数は、性別や年齢が無回答のものを含むため、性別および年齢の回答の合計数と一致しない場合があります。

(2) 自由意見に関する結果

■市内の道路に関しておもうこと・検討の進め方

大分類	中分類	小分類	意見総数	性別			年齢						
				男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	
安全性	歩道を安全に、快適に歩けるようにしてほしい	ゆとりのある空間を歩きたい	105	42	49	0	1	8	13	19	19	8	17
		歩きやすい道にしてほしい	69	25	33	1	1	8	8	15	8	4	9
		自動車や自転車との錯綜が心配だ	97	41	50	0	2	8	21	18	15	10	11
		歩行空間の見通しをよくしてほしい	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		学校に安全に通学できる道にしてほしい	15	5	10	0	0	2	3	4	3	0	2
		踏切を安全に渡れるようにしてほしい	3	2	1	0	0	0	0	0	2	1	0
		道路や交差点を安全に渡れるようにしてほしい	39	17	17	0	0	6	10	4	5	4	4
自転車を利用できるようにしてほしい	自転車で安全・快適に走行したい	自転車で安全・快適に走行したい	58	19	34	1	1	2	9	11	11	8	6
		見通しを確保してほしい	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0
		その他	7	2	3	0	0	0	0	1	2	0	1
自転車の駐輪スペースを確保してほしい	駐輪場スペースを確保してほしい	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	その他	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	
自動車を安心して運転できるようにしてほしい	歩行者との接触を心配せずに走行したい	南北方向をスムーズに移動したい	12	6	5	0	0	3	4	0	0	2	1
		自転車との接触の心配をせずに走行したい	9	4	4	0	0	3	4	0	0	0	1
		ゆとりある空間を快適に走行したい	9	5	3	0	0	2	0	3	0	1	2
		その他	3	2	1	0	0	0	0	1	2	0	0
定時性	遅れることなく目的地に到着したい	その他	36	11	19	0	0	0	8	6	7	2	5
		南北方向をスムーズに移動したい	7	4	3	0	0	0	1	1	4	0	1
		線路をスムーズに渡りたい	16	9	5	0	0	1	4	1	3	3	0
		交差点をスムーズに渡りたい	13	2	8	0	0	0	0	0	4	1	0
		その他	2	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0
アクセス性	市内の拠点（駅やスーパー等）へアクセスしやすくてほしい	その他	6	5	1	0	0	1	0	0	1	3	1
		鉄道駅に行きやすくてほしい	12	2	10	0	0	0	1	1	4	4	0
		その他	12	8	3	0	0	0	0	3	2	0	5
		広域の移動をしやすくしてほしい	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		わかりやすい経路を通りたい	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1
防災性	消防車や救急車が通行できる道路にしてほしい	その他	6	5	1	0	0	0	0	2	1	1	4
		その他	16	8	5	0	0	0	3	4	2	3	1
		消防車や救急車が通行できる道路にしてほしい	—	8	5	3	0	0	0	0	2	1	4
住環境	自然を残してほしい	—	9	7	2	0	0	0	0	2	1	2	4
	その他	—	25	8	14	0	0	1	1	4	3	4	8
計画	実現性のある道路計画にしてほしい	—	11	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	道路網計画の内容・進め方の提案に関するもの	—	36	18	10	0	0	0	3	5	5	6	10
	計画に賛同する・応援している	—	18	12	3	0	0	2	3	2	5	3	1
	道路事業の進捗状況の共有をしてほしい	—	24	13	7	0	0	0	3	4	4	5	3
	道路整備を進めてほしい	—	10	7	2	0	0	0	2	0	2	3	1
	その他	—	22	12	9	0	0	0	3	3	3	4	7
	市民参加	情報発信を充実させてほしい	—	11	7	4	0	0	1	2	0	2	2
検討の進め方	様々な方法で市民参加をしてほしい	—	9	7	1	1	0	0	1	2	3	0	1
		その他	11	6	5	0	0	0	2	1	3	1	3
		進め方	—	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	にぎわいのある街にしてほしい	その他	4	2	2	0	0	0	0	2	0	2	0
		その他	4	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0
		その他	21	8	12	0	0	0	3	1	6	2	7
その他	その他	—	103	40	42	0	1	3	6	14	15	17	26

参考2 市民参加[STEP1] 市民アンケート調査 詳細結果

(1) 道路の利用状況に関する結果

■市内の道路を日常的に利用する「主な目的」

	総数	性別			年齢						
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～
通勤・通学	1627	681	763	54	58	193	170	188	235	130	40
食料品や日用雑貨など日常的な買い物	1638	683	770	55	33	151	175	198	245	207	251
病院・医院など医療機関への通院	1615	677	759	55	7	17	23	16	35	52	175
市役所などの公共機関への用事	1599	671	752	54	3	1	8	3	8	6	21
教養、文化活動、習い事など	1597	671	751	54	6	5	12	13	11	17	50
娯楽、レジャーなど	1599	673	751	54	10	25	16	15	30	25	24
その他	1597	670	752	54	1	5	4	4	6	12	10

■市内の道路を日常的に利用する「主な移動手段」

	総数	性別			年齢						
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～
徒歩	1625	684	758	57	48	144	148	155	186	147	179
自転車	1626	678	763	57	41	106	119	138	134	94	118
バイク	1598	672	749	56	4	2	4	10	3	3	3
バス	1611	676	755	56	16	17	19	28	45	42	108
鉄道	1605	675	751	56	12	66	40	26	35	31	27
自動車	1611	677	754	56	4	46	52	65	124	85	58
その他	1598	672	749	56	1				2	1	7

■自動車の運転頻度

	総数	性別			年齢						
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～
毎日	136	73	50	2	8	9	23	19	31	31	14
週4～6日	134	64	57	5	11	20	15	20	34	16	17
週1～3日	456	240	168	18	4	43	55	82	122	85	65
ほとんどない	848	295	463	31	44	145	123	113	123	110	188

(2) 自由意見に関する結果

■市内の道路に関しておもうこと・検討の進め方 (その1)

大分類	中分類	小分類	意見総数	性別			年齢						
				男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代~
安全性	歩道を安全に、快適に歩けるようにしてほしい	ゆとりのある空間を歩きたい	54	11	34	5	1	9	8	13	12	6	4
		歩きやすい道にしてほしい	71	15	44	7	2	8	11	14	13	5	9
		自動車や自転車との錯綜が心配だ	67	14	40	8	0	5	13	11	17	17	3
		歩行空間の見通しをよくしてほしい	6	1	5	0	0	0	1	2	0	1	1
		学校に安全に通学できる道にしてほしい	14	4	7	2	0	0	6	2	2	2	0
		踏切を安全に渡れるようにしてほしい	2	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0
		道路や交差点を安全に渡れるようにしてほしい	22	12	7	0	0	0	4	3	4	8	1
安全性	自転車を安全に利用できるようにしてほしい	その他	26	7	15	1	1	0	1	6	10	5	1
		自転車で安全・快適に走行したい	71	25	40	4	4	14	12	13	12	10	4
		見通しを確保してほしい	3	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0
	自転車の駐輪スペースを確保してほしい	その他	12	6	6	0	0	0	0	2	5	1	3
		鉄道駅のまわりで駐輪しやすくしてほしい	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
		歩行者との接触を心配せずに走行したい	7	2	3	1	0	0	2	0	3	2	0
		自転車との接触の心配をせずに走行したい	7	4	3	0	0	1	0	2	2	2	0
定時性	遅れることなく目的地に到着したい	ゆとりある空間を快適に走行したい	15	3	10	0	0	4	1	1	3	1	3
		その他	9	3	5	1	0	0	2	2	3	2	0
		その他	74	31	35	2	2	6	12	11	19	9	4
		南北方向をスムーズに移動したい	2	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0
		鉄道駅へ遅れることなく移動したい	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		線路をスムーズに渡りたい	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		交差点をスムーズに渡りたい	4	1	3	0	0	0	1	0	1	2	0
アクセシビリティ	市内の拠点（駅やスーパー等）へアクセスしやすくてほしい	その他	5	4	1	0	0	0	1	1	1	1	1
		鉄道駅に行きやすくてほしい	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	広域の移動をしやすくしてほしい	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		都心方面に行きやすくてほしい	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		三鷹市方面に行きやすくてほしい	2	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0
		府中市方面に行きやすくてほしい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		わかりやすい経路を通りたい	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
代替性	その他	その他	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
		その他	12	4	8	0	1	0	1	0	2	4	4
防災性	消防車や救急車が通行できる道にしてほしい	その他	—	6	0	3	0	0	1	0	1	1	0
		その他	—	6	2	4	0	0	0	0	1	2	0
住環境	居住環境（通風や日照等）の影響も考慮してほしい	自然を残してほしい	—	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0
		その他	—	7	2	4	1	0	0	0	0	2	2
	その他	その他	—	6	5	1	0	0	0	0	1	1	0

■市内の道路に関しておもうこと・検討の進め方（その2）

大分類	中分類	小分類	意見総数	性別			年齢						
				男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～
計画	実現性のある道路計画にしたい	—	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	道路網計画の内容・進め方の提案に関するもの	—	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	道路事業の進捗状況の共有をしてほしい	—	2	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0
	道路整備を進めてほしい	—	5	4	0	1	0	0	0	1	2	2	0
	その他	—	10	7	2	0	1	0	1	2	0	3	2
検討の進め方	市民参加	様々な方法で市民参加をしてほしい	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他	—	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	進め方	計画の進捗状況の共有をしてほしい	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他	—	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	にぎわいのある街にしてほしい	駅前をきれいにしてほしい	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	便利なまちになってほしい	—	3	3	0	0	1	0	1	1	0	0	0
	その他	—	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	その他	その他	124	55	50	6	6	10	15	19	20	21	15

参考3 市民参加[STEP 2] 第2回みちの井戸端会議 詳細結果

(1) 道路の利用状況に関する結果

■市内の道路を日常的に利用する「主な目的」

	総数	性別			年齢							
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～
通勤・通学	66	34	27	2	2	7	11	15	18	7	1	0
食料品や日用雑貨など日常的な買い物	103	46	46	2	2	5	6	15	17	19	21	10
病院・医院など医療機関への通院	18	7	10	0	0	3	0	1	1	4	5	2
市役所などの公共施設への用事	11	5	4	0	0	1	1	3	1	0	3	0
教養、文化活動、習い事など	12	3	8	0	0	1	0	3	0	2	5	0
娯楽、レジャーなど	11	6	4	0	1	0	1	3	1	2	0	2
その他	8	2	5	0	0	0	2	0	2	2	2	1

■市内の道路を日常的に利用する「主な移動手段」

	総数	性別			年齢							
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～	80歳代～
徒歩	103	34	56	2	1	6	12	15	13	18	19	9
自転車	56	28	26	0	1	4	7	15	8	10	6	4
バイク	2	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
バス	20	11	9	0	1	3	2	1	6	2	3	2
自動車	21	12	8	1	0	1	1	3	8	2	6	0
その他	6	3	2	0	0	0	0	0	1	2	2	0

■自動車の運転頻度

	総数	性別			年齢							
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～	80歳代～
毎日	11	7	3	0	0	1	1	2	1	1	4	1
週4～6日	14	6	6	0	0	1	1	3	3	5	0	0
週1～3日	23	16	5	2	0	1	3	3	7	4	5	0
ほとんどない	57	22	29	0	0	2	6	10	11	9	8	4
運転免許を持っていない	24	8	16	0	2	3	2	1	1	1	8	5

(2) 自由意見に関する結果

■市内の道路に関しておもうこと・検討の進め方

大分類	中分類	小分類	意見総数	性別			年齢							
				男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～
安全性	歩道を安全に、快適に歩けるようにしてほしい	ゆとりのある空間を歩きたい	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		歩きやすい道にしてほしい	7	2	5	0	0	0	0	1	3	2	1	0
		自動車や自転車との錯綜が心配だ	10	4	5	0	0	1	1	3	1	1	1	1
		学校に安全に通学できる道にしてほしい	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		その他	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	自転車を安全に利用できるようにしてほしい	自転車で安全・快適に走行したい	16	8	7	0	0	1	0	2	4	3	2	3
		駐輪場スペースを確保してほしい	2	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
		自動車を安心して運転できるようにしてほしい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	その他	その他	6	2	3	0	0	0	0	2	3	0	0	0
定時性	その他	その他	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
アプローチ性	市内の拠点（駅やスーパー等）へアクセスしやすい	鉄道駅に行きやすくしてほしい	2	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		消防車や救急車が通行できる道路にしてほしい	—	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	その他	—	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
住環境	自然を残してほしい	—	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
検討の進め方	市民参加	情報発信を充実させてほしい	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	進め方	計画の進捗状況の共有をしてほしい	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0
その他	にぎわいのある街にしてほしい	駅前をきれいにしてほしい	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	その他	9	5	2	1	0	1	1	3	1	1	0	0

■道路網構築の目標や視点に対する意見

大分類	小分類	意見総数	性別			年齢							
			男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～
道路網構築の考え方	快適・便利・安全の考え方に関する意見	6	3	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1
	防災・減災の考え方に関する意見	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	活性化の考え方に関する意見	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	環境・住環境に考え方に関する意見	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	効率性の考え方に関する意見	3	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0
	内容全般	内容に賛同する	4	0	4	0	0	0	1	1	0	0	1
		内容が難しい	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	その他	—	5	3	0	0	0	0	0	1	2	1	0

参考4 市民参加[STEP 3] 第3回みちの井戸端会議 詳細結果

(1) 道路の利用状況に関する結果

■市内の道路を日常的に利用する「主な目的」

	総数	性別			年齢								
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	
通勤・通学	37	22	13	2	0	2	12	8	6	4	3	0	
食料品や日用雑貨など日常的	43	18	23	2	0	2	8	6	9	7	6	5	
病院・医院など医療機関への	3	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	
市役所などの公共施設への	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
教養、文化活動、習い事など	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
娯楽、レジャーなど	4	2	2	0	0	0	0	1	0	0	3	0	
その他	6	5	1	0	0	1	1	1	0	1	2	0	

■市内の道路を日常的に利用する「主な移動手段」

	総数	性別			年齢								
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	
徒歩	49	30	15	4	0	1	9	10	9	4	10	4	
自転車	24	12	12	0	0	2	8	5	3	2	3	1	
バイク	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
バス	4	1	2	1	0	0	1	0	2	0	0	0	
自動車	24	12	11	1	0	3	5	2	8	4	2	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

■自動車の運転頻度

	総数	性別			年齢								
		男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	
毎日	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
週4～6日	7	3	3	1	0	0	1	0	3	2	0	1	1
週1～3日	20	12	7	1	0	1	5	6	4	2	1	0	0
ほとんどない	14	7	5	2	0	2	4	3	1	1	2	0	0
運転免許を持っていない	11	5	6	0	0	0	0	0	3	0	5	3	0

(2) 自由意見に関する結果

■市内の道路に関しておもうこと・検討の進め方

大分類	中分類	小分類	意見総数	性別			年齢						
				男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～
安全性	歩道を安全に、快適に歩けるようにしてほしい	ゆとりのある空間を歩きたい	4	1	3	0	0	0	0	1	0	3	0
		歩きやすい道にしてほしい	3	2	1	0	0	0	0	1	1	0	1
		自動車や自転車との錯綜が心配だ	3	1	2	0	0	0	0	0	2	0	1
		学校に安全に通学できる道にしてほしい	17	7	8	0	0	1	6	5	3	2	0
		踏切を安全に渡れるようにしてほしい	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
		道路や交差点を安全に渡れるようにしてほしい	2	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0
		その他	7	1	5	0	0	0	3	2	1	0	1
	自転車を安全に利用できるようにしてほしい	自転車で安全・快適に走行したい	3	0	3	0	0	1	0	0	2	0	0
		その他	3	2	1	0	0	0	1	1	0	1	0
		自転車の駐輪スペースを確保してほしい	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
アクセス性	市内の拠点（駅やスーパー等）へアクセスしやすくしてほしい	鉄道駅に行きやすくてほしい	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		その他	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	その他	その他	—	6	3	3	0	0	0	1	2	2	0
防災性	自然を残してほしい	—	—	5	3	1	0	0	0	0	1	1	0
		その他	—	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	道路網計画の内容・進め方の提案に関するもの	—	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2
検討の進め方	その他	その他	—	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1
	その他	その他	—	4	3	0	0	0	0	1	1	0	0

■道路の整備優先度や整備プログラムの考え方

大分類	中分類	意見総数	性別			年齢						
			男性	女性	その他	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～
道路整備プログラム	広域道路の整備優先度の考え方に対する提案	9	4	4	0	0	0	0	4	0	2	2
	計画検討路線選定の考え方に対する提案	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地区内道路の整備優先度の考え方に対する提案	6	4	1	0	0	0	1	1	1	2	1
	地区内道路の機能確保のための総合的な取組の考え方に対する提案	6	3	2	0	0	1	0	1	1	1	0
	考え方方に賛同する	9	3	6	0	0	0	4	1	3	0	1
	その他	3	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0

参考5 「市内の道路に関しておもうこと」の分類

みちの井戸端会議でいただいた意見と、道路に関するアンケートの自由回答欄の意見を、安全性、定時性、アクセス性、代替性、防災性、住環境、計画、検討の進め方に分類しました。

各分類の考え方については、p.1-8をご覧ください。

大分類	中分類	小分類	
安全性	歩道を安全に、快適に歩ける ようにしてほしい	ゆとりのある空間を歩きたい	
		歩きやすい道にしてほしい	
		目的地まで切れ目なく安全に歩けるようにしてほしい	
		自動車や自転車との錯綜が心配だ	
		歩行空間の見通しをよくしてほしい	
		学校に安全に通学できる道にしてほしい	
自転車を安全に利用できるよ うにしてほしい		踏切を安全に渡れるようにしてほしい	
		道路や交差点を安全に渡れるようにしてほしい	
		その他	
自転車の駐輪スペースを確保 してほしい	自転車で安全・快適に走行したい		
	見通しを確保してほしい		
	その他		
自動車を安心して運転できる ようにしてほしい	鉄道駅のまわりで駐輪しやすくしてほしい	鉄道駅のまわりで駐輪しやすくしてほしい	
		近隣のスーパーなどに来た時に駐輪をしやすくしてほしい	
		駐輪場スペースを確保してほしい	
		その他	
	歩行者との接触を心配せずに走行したい	歩行者との接触を心配せずに走行したい	
		自転車との接触の心配をせずに走行したい	
		ゆとりある空間を快適に走行したい	
		その他	
その他	南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい	南北方向をスムーズに移動したい	
		南北方向をスムーズに移動したい	
	その他	その他	
定時性	南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい	南北方向をスムーズに移動したい	
		南北方向をスムーズに移動したい	
	その他	その他	
アクセス性	南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい	南北方向をスムーズに移動したい	
		南北方向をスムーズに移動したい	
		南北方向をスムーズに移動したい	
	南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい 南北方向をスムーズに移動したい	南北方向をスムーズに移動したい	
		南北方向をスムーズに移動したい	
	その他	その他	
	その他	その他	

大分類	中分類	小分類
代替性	目的地に複数の経路で行ける	—
	目的地に複数の交通手段で行ける	—
	その他	その他
防災性	火災発生時に、燃え広がらないようにしてほしい	—
	消防車や救急車が通行できる道路にしてほしい	—
	その他	—
住環境	居住環境（通風や日照等）の影響も考慮してほしい	—
	自然を残してほしい	—
	その他	その他
計画	実現性のある道路計画にしてほしい	—
	道路網計画の内容・進め方の提案に関するもの	—
	計画に賛同する・応援している	—
	道路事業の進捗状況の共有をしてほしい	—
	道路整備を進めてほしい	—
	その他	—
検討の進め方	市民参加	情報発信を充実させてほしい
		様々な方法で市民参加をしてほしい
		住民同士で議論できる場がほしい
		その他
	進め方	意思決定を透明化してほしい
		計画の進捗状況の共有をしてほしい
		その他
	その他	その他
その他	にぎわいのある街にしてほしい	駅前をきれいにしてほしい
		便利なまちになってほしい
		その他
	その他	その他

参考6 道路に関するアンケート調査票

道路に関するアンケートでは、こちらの調査票を使用しました。

事務局記入欄 通し番号（ ）					
調布市の道路に関するアンケート調査					
右記のQRコードを読み取りweb上でご回答、 または、本用紙にご記入いただきご回答ください。 ※URLからもご回答できます。https://questant.jp/q/chofu_road_questionnaire_202502					
問1 日常的に利用している道路や、お住まい周辺の道路整備の状況について、どのように感じていますか。(1)～(5)の項目ごとの該当する番号に1つずつ○をつけてください。					
項目番号	設問項目	そう思う	そう思う	思わない	思わない
記入例	該当するものに○印をつけてください →	1	(2)	3	4
(1)	道路は十分整備されている。	1	2	3	4
(2)	道路の維持補修は十分である。	1	2	3	4
(3)	車が走りやすい空間が確保されている。	1	2	3	4
(4)	自転車が走りやすい空間が確保されている。	1	2	3	4
(5)	歩行者が歩きやすい空間が確保されている。	1	2	3	4
問2 道路の役割について					
(1) 道路には様々な役割があります。普段のくらしの中で、それぞれの道路の役割について、どのように感じていますか。(1)～(6)の項目ごとに、満足度について該当する番号に1つずつ○をつけてください。					
道路の役割		満足している	満足している どちらかといえば	不満である どちらかといえば	不満である
(1)安全性	交通安全が確保されている。	1	2	3	4
(2)定時性	移動にかかる時間が読める。	1	2	3	4
(3)アクセシビリティ	行きたい所に遠回りせずに行ける。	1	2	3	4
(4)代替性	行きたい所に複数の経路や交通手段で行ける。	1	2	3	4
(5)防災性	緊急車両が円滑に通行できるなど、防災空間が確保されている。	1	2	3	4
(6)住環境	通風、採光、緑化、景観などに寄与している。	1	2	3	4

(2) 前問(1)の道路の役割からみて、道路に関わる日常生活への影響や困りごとについてお聞きします。下の表の項目番号(1~13)の中で、特に困っている項目を3つまで選んで、項目番号(1~13)に○をつけてください。

道路の役割	項目番号	道路に関わる日常生活への影響や困りごとの項目
(1)安全性	1	歩道が少ない、または狭い。
	2	徒步、自転車などで道路を通行する際に危険な場面がある。 ※危険な場面とは、交通安全に関するもの
	3	路上に停車している車が通行動線を妨げている。
(2)定時性	4	道路が混むため、バスで時間どおりに移動できない。
	5	道路が混むため、車での移動に時間がかかる。
(3)アクセス性	6	道路が狭く、最寄りの駅に行きにくい。
	7	道路が狭く、車による移動が不便である。
(4)代替性	8	雨の日などバスを利用したいこともあるが、バス路線が充実していない。
	9	目的地までの迂回ルートが十分確保されていない。
(5)防災性	10	火災が発生すると、燃え広がりそうで心配である。
	11	道路が狭く、消防車や救急車が通れない。
(6)住環境	12	道路が狭く、居住環境（通風や日照など）が悪い。
	13	緑が少なく、うるおいがない。

問3 問1、問2の設問に対する回答を踏まえ、道路整備に対してどのくらい満足していますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である |

問4 これから道路計画で配慮すべき事項

(1) あなたにとって、以下のア～カの6つの事項について、どの程度重要だと思いますか。
ア～カの項目ごとの該当する番号に1つずつ○をつけてください。

これから道路計画で配慮すべき事項	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
ア. 高齢社会への対応 安全で歩きやすい歩行環境の創出やバスなどを利用しやすい道路ネットワークの充実	1	2	3	4
イ. 環境負荷への配慮 公共交通の利用促進や自動車の流れをスムーズにする低炭素化への取組、自然環境への配慮	1	2	3	4
ウ. 防災・減災への対応 災害に備えた避難路や火災による燃え広がりを防ぐ防災空間となるような道路の重点的な整備	1	2	3	4
エ. 周辺の街づくりとの連携 まちづくり事業に合わせて、幹線道路や生活道路などを一体的に整備	1	2	3	4
オ. 市民参加の機会の確保 市民が利用しやすい道路整備には、市民参加により、きめ細かく意見を踏まえることが必要	1	2	3	4
カ. 選択と集中による効果的な取組み 社会福祉費や都市基盤の維持管理費が増大する中において、道路整備は無駄のない取組が必要	1	2	3	4
キ. その他 ※上記のア～カの事項以外に重要な事項があれば、以下に具体的な内容を記入し、番号に○をつけてください。	1	2	3	4
【具体的にご記入ください】				

(2) 前問(1)の(ア～キ)のうち、特に重要だと思う事項を3つまで選び、○をつけてください。

- ア. 高齢社会への対応 イ. 環境負荷への配慮 ウ. 防災・減災への対応
エ. 周辺の街づくりとの連携 オ. 市民参加の機会の確保 カ. 選択と集中による効果的な取組み
キ. その他

問5 その他、何かご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

【自由回答欄】

問6 あなたご自身のことについてお聞きします。差し支えない範囲でご回答ください。

(1) あなたの性別、年齢、ご職業などについて、それぞれ該当する番号を1つずつ選んで○をつけてください。

性別	1. 男 性	2. 女 性	3. 回答しない
年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代
ご職業	5. 50歳代	6. 60歳代	4. 40歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上 1. 自営業 2. 農業 3. 会社員・公務員 4. 派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイト 5. 学生 6. 専業主婦(主夫) 7. 無職 8. その他()

(2) あなたのお住まいの住所はどちらですか。下記の回答欄に『〇〇町▲丁目』のようにご記入ください。

【回答欄】 記入例：小島町 2丁目

	丁目
--	----

(3) あなたが市内の道路を日常的に利用する「主な目的」や「主な移動の手段」はなんですか。
それぞれ該当する番号に2つまで○をつけてください。

主な目的	1. 通勤・通学	2. 食料品や日用雑貨など日常的な買い物	3. 病院・医院など医療機関への通院
	4. 市役所などの公共機関への用事	5. 教養、文化活動、習い事など	6. 娯楽、レジャーなど
主な移動手段	7. その他()	1. 徒歩	2. 自転車
		4. バス	5. 鉄道
		7. その他()	3. バイク
			6. 自動車

(4) あなたの自動車を運転する頻度は、どの程度ですか。

自動車の運転頻度	1. 每日	2. 週4~6日	3. 週1~3日	4. ほとんどない

質問は以上で終わりです。

最後までご協力いただき、誠にありがとうございました。

返送期限

ご記入いただいた調査票は、折りたたんで、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

令和7年2月17日(月)まで に郵便ポストへ投函してください。

なお、調査票や返信用封筒にお名前・ご住所などの記入は必要ありません。

参考7 みちの井戸端会議開催案内ポスター・チラシ

第1回～第3回みちの井戸端会議では、こちらのポスター・チラシを使用しました。

市民参加[STEP1] 第1回みちの井戸端会議

みちの 井戸端会議

「調布市道路網計画」改定のための
検討に関する意見交換の場

お問い合わせ先

調布市都市整備部まちづくり推進課
〒 182-8511
調布市小島町 2-35-1 市役所 7階
☎ 042-481-7587
✉ tokeido@city.chofu.lg.jp

QRコード

調布市は、「調布市道路網計画の改定」の検討に当たり、市民の皆さんに日頃道路に
対して感じている疑問やご意見などをお聴きする「みちの井戸端会議」を開催します。
下記の会場・日時で行いますので、お気軽に立ち寄りください！
事前の申込みは必要ありません。当日直接会場へお越しください。

検討内容(10/24公開)・
WEBアンケート回答はこちらのQRコードから

会場・日時

染地地域福祉センター 10月24日(木) 11:00～14:00	柴崎駅 10月24日(木) 17:00～20:00	深大寺地域福祉センター 10月25日(金) 14:00～17:00	国領駅 10月25日(金) 17:00～20:00
仙川駅 10月26日(土) 14:00～17:00	調布ヶ丘地域福祉センター 10月30日(水) 11:00～14:00	富士見地域福祉センター 10月30日(水) 11:00～14:00	調布駅 10月30日(水) 17:00～20:00
入間地域福祉センター 10月31日(木) 11:00～14:00	布田駅 10月31日(木) 17:00～20:00	緑ヶ丘地域福祉センター 11月5日(火) 11:00～14:00	仙川駅 11月5日(火) 17:00～20:00
飛田給駅 11月6日(水) 17:00～20:00	京王多摩川駅 11月13日(水) 17:00～20:00	西調布駅 11月14日(木) 17:00～20:00	調布駅 11月16日(土) 15:00～18:00
つつじヶ丘駅 11月22日(金) 17:00～20:00	つつじヶ丘駅 11月23日(土) 15:00～18:00	国領駅 11月23日(土) 15:00～18:00	※このほかの会場・日時は 適宜、市のHPに掲載します

みちの井戸端会議は、説明パネルを展示し、市職員が対面形式で市民の皆様のご意見等を
お聴きする場です。時間内であれば、ご自由に入り出せます。



市民参加[STEP 2] 第2回みちの井戸端会議



お問い合わせ先

調布市都市整備部まちづくり推進課
〒 182-8511
調布市小島町2-35-1 市役所7階
☎ 042-481-7587
✉ tokeldo@city.chofu.lg.jp

「調布市道路網計画」改定のための 検討に関する意見交換の場



調布市は、「調布市道路網計画」の改定の検討に当たり、道路網の目標や
視点について、ご意見をお聴きする「みちの井戸端会議」を開催します。
下記の会場・日時で行いますので、お気軽にお立ち寄りください！
事前の申込みは必要ありません。当日直接会場へお越しください。

検討内容の閲覧、WEBアンケート回答は
こちらのQRコードから
(5/26(月)から閲覧・回答が可能です)

会場・日時

つつじヶ丘駅 (北口1階エスカレーター脇) 5月26日(月) 17:00~19:00	深大寺(駐輪場) 5月27日(火) 13:00~15:00	仙川駅(駅前広場) 5月28日(水) 17:00~19:00
てつみち(トリエ京王調布C館北側) 5月29日(木) 13:30~15:30	調布駅(駅前広場 広場口前付近) 5月31日(土) 10:00~12:00	仙川駅(駅前広場) 5月31日(土) 10:00~12:00
多摩川 (多摩川児童公園自由広場付近) 5月31日(土) 14:30~16:30	DCM調布店(1階店舗入口) 5月31日(土) 14:30~16:30	西調布駅(南口駅舎横) 6月2日(月) 17:00~19:00
調布駅(駅前広場 広場口前付近) 6月3日(火) 17:00~19:00	鉄道敷地(布田一国領間) (パークレット付近) 6月4日(水) 14:00~16:00	飛田給駅(南口駅舎横) 6月5日(木) 17:00~19:00
イトーヨーカドー国領店 (2階 駐車場連絡通路) 6月7日(土) 10:00~12:00	キテラタウン調布 (1階正面玄関入口エスカレーター前) 6月7日(土) 10:00~12:00	

みちの井戸端会議は、説明パネルを展示し、市職員が対面形式で市民の皆様のご意見等を
お聴きする場です。時間内であれば、ご自由に入出力できます。



市民参加[STEP 3] 第3回みちの井戸端会議



お問い合わせ先

調布市都市整備部まちづくり推進課
〒 182-8511
調布市小島町 2-35-1 市役所 7階
☎ 042-481-7587
✉ tokeldo@city.chofu.lg.jp

「調布市道路網計画」改定のための 検討に関する意見交換の場



調布市は、「調布市道路網計画」の改定の検討に当たり、道路の整備優先度や整備プログラムの考え方について、ご意見をお聴きする「みちの井戸端会議」を開催します。下記の会場・日時で行いますので、お気軽にお立ち寄りください！事前の申込みは必要ありません。当日直接会場へお越しください。

検討内容の閲覧、WEBアンケート回答は
こちらのQRコードから
(10/27(月)から閲覧・回答が可能です)

会場・日時

仙川駅（駅前広場）

10月27日(月)
18:00～20:00

深大寺地域福祉センター
(大集会室)

10月29日(水)
18:00～20:00

深大寺（駐輪場）

10月31日(金)
13:00～15:00

深大寺（駐輪場）

11月1日(土)
10:00～12:00

キテラタウン調布
(1階正面玄関入口エスカレーター前)

11月1日(土)
14:30～16:30

西調布駅（南口駅舎横）

11月5日(水)
18:00～20:00

杉森小学校（1階会議室）

11月7日(金)
17:30～19:30

調布駅
(駅前広場 広場口前付近)

11月8日(土)
10:00～12:00

みちの井戸端会議は、説明パネルを展示し、市職員が対面形式で市民の皆様のご意見等をお聴きする場です。時間内であれば、ご自由に入出力できます。



参考8 みちの井戸端会議の展示パネル

第1回～第3回みちの井戸端会議では、こちらの展示パネルを使用しました。

市民参加[STEP1] 第1回みちの井戸端会議



みちの井戸端会議とは？

調布市では、誰もが使いやすい道路を目指し、皆さんが日ごろ道路を利用してい る中で、感じていることを考慮しながら みちづくりの検討を進めていきたいと考えています。

本年度から、市内の都市計画道路や生活道路を一体的に計画した「調布市道路網計画」の改定に向けて検討を進めています。

「みちの井戸端会議」は、市民の皆さんのがみちに対するお考えをお聴きする場です。

On the right side of the panel, there are six small photographs illustrating various types of roads and urban environments: a coastal road, a straight city street, a residential street with trees, a traditional building, a stadium, and a quiet residential street.

「調布市道路網計画」とは?



- ・ 調布市道路網計画(平成28年3月策定)は、都市計画道路を対象とした「**広域道路網計画**」と、生活道路を対象とした「**地区内道路網計画**」により構成します。
- ・ それぞれの計画に、調布市の将来都市像の実現に必要な「**目指すべき道路網**」、整備優先度を明示した「**道路整備プログラム**」を設けました。
- ・ 広域道路整備プログラムの優先整備路線(※)に関しては、事業化できていない路線があるものの、多くの路線が事業中または事業準備中です。
- ・ 地区内道路整備プログラムに関しては、多くの路線が事業中であり、整備が完了した路線もあります。

※H28年度～R7年度の10年間で整備または着手する路線



▲調布市道路網計画



▲「調布市におけるこれからのみちづくり 調布市道路網計画」パンフレット



▲「調布市におけるこれからのみちづくり 調布市道路網計画の進捗状況」パンフレット



「調布市道路網計画」の改定について



「調布市道路網計画」の策定から8年が経過し、**みちを取り巻く状況や、社会情勢・市民ニーズ**の変化に対応した計画とするため、改定の検討を実施いたします。

コロナ禍による ライフスタイルの変化

中心市街地等における実施すべき取組

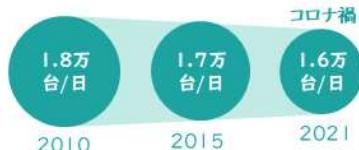


ゆとりある屋外空間や
回遊空間に対する
ニーズが高まっています。

出典：国土交通省「新型コロナ
感染症の影響下における移行
新規性(令和3年12月実施)」
より作成

交通需要の変化

都道・国道における24時間平均交通量



都内の平均交通量
はやや減少しており、
交通量の変化等に
応じた計画内容の
見直しが必要です。

出典：国土交通省「道路交通センサス」
より作成

防災・減災の強化

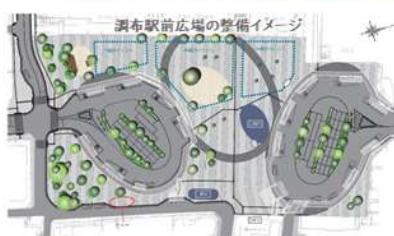
台風による市内での道路冠水の状況



緊急時の物資や活動人員の
輸送を支える道路網の構築を
進めています。

出典：「令和元年東日本台風
(台風第17号)調査報告書」
(令和3年3月) p.32

中心市街地の活性化



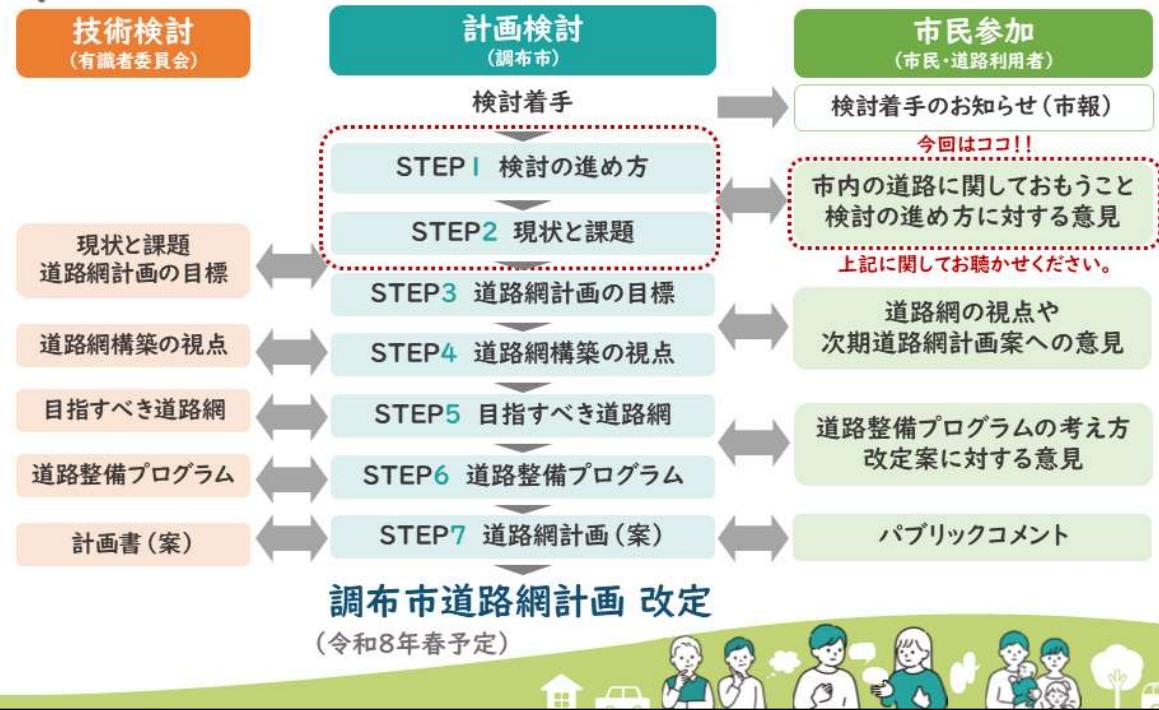
京王線の地下化に伴う
地上部の鉄道敷地を活用
して、歩いて楽しい空間の
整備や、中心市街地を
安全・快適に回遊できる
道路ネットワークの形成を
進めています。

出典：調布駅前広場整備計画図
(令和5年3月作成)

検討の進め方について



- ・ 計画の流れに沿ってSTEPを区切り、検討を進めます。
- ・ 検討の各段階において、技術的な視点での検討と、市民・道路利用者の皆さんとのコミュニケーションを実施し、市民の皆さんからの意見を計画策定に活用します。



みちについて、気になっていること



みちをとおるとき、
不便に感じることは
ありませんか？

？ こここのみちは
危ないな

通りやすい、過ごしやすい
お気に入りの
みちはありませんか？

？ みちでこんなことが
できたらいいな

災害が起きた時の
みちの使い方は
想像できますか？

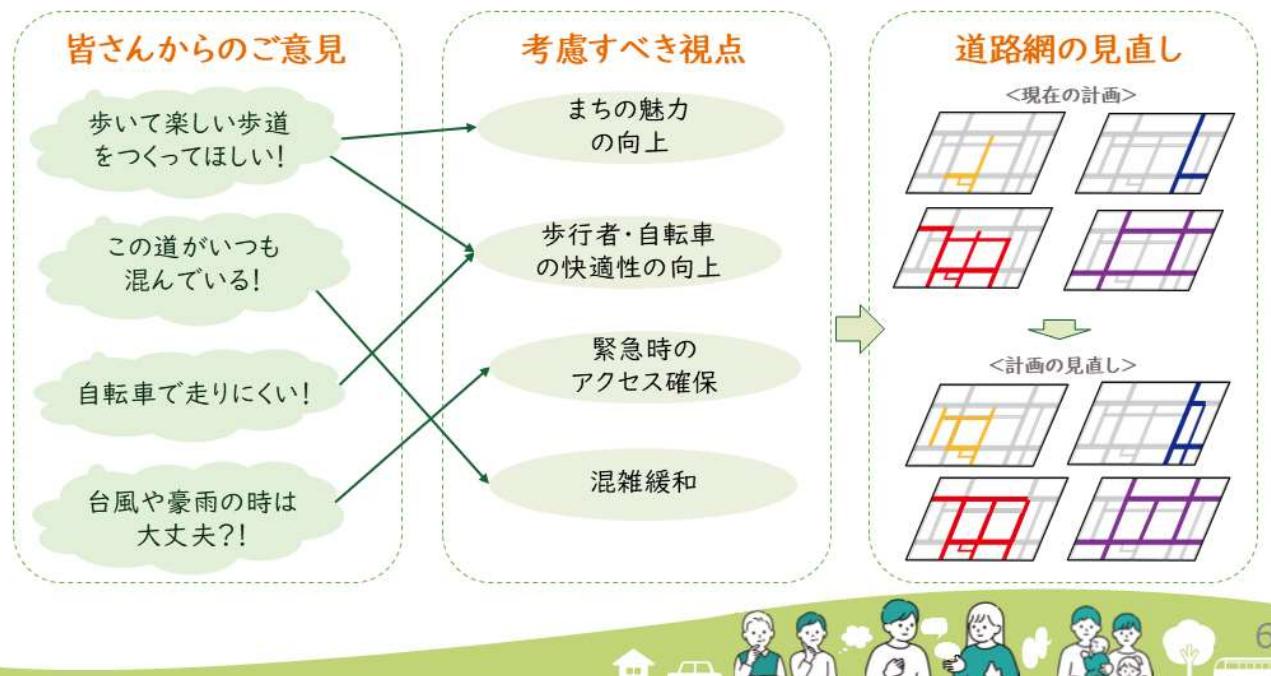
？ 自分の意見は、
道路網計画に
どのように反映されますか？

どんなことでも結構です！
日頃、みちについて気になっていることをお聞かせください。

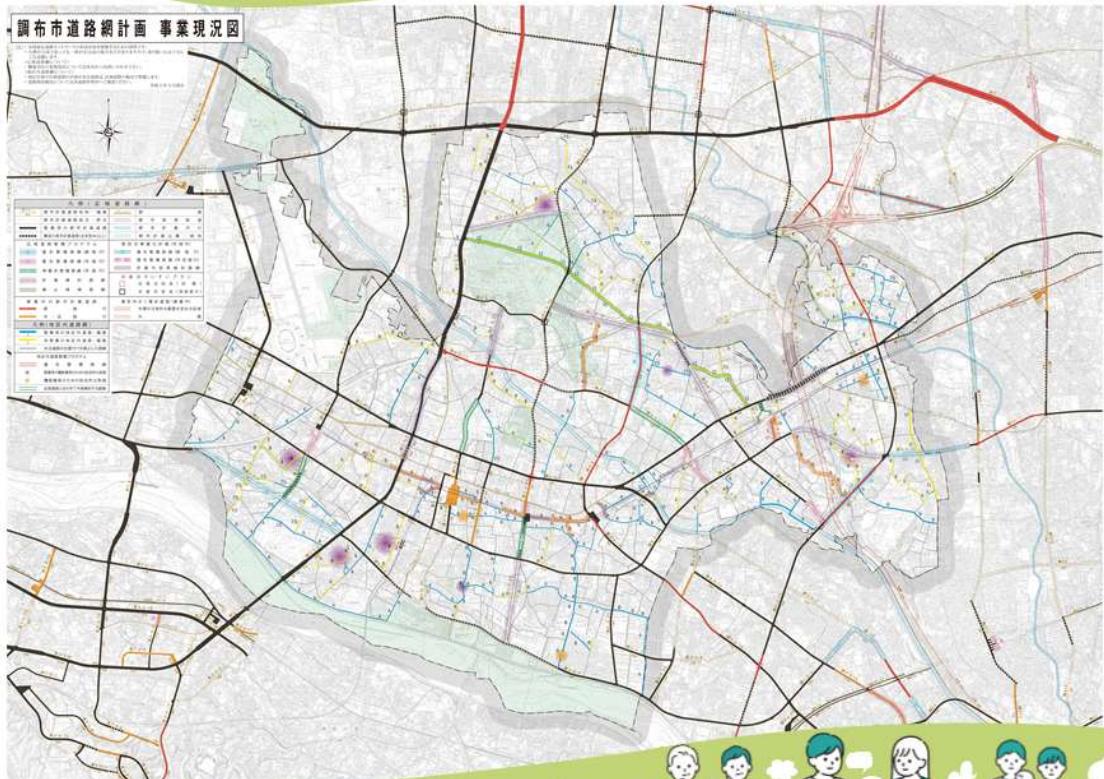
いただいたご意見の活用法(例)



皆さんからのご意見等を、考慮すべき視点として活用しながら、現在の道路網を見直します。



参考(事業現況図)



「調布市道路網計画」改定のための
検討に関する意見交換の場

ご自由にご覧ください



道路網構築の
目標や視点について、
ご意見をお聞かせください。



調布市都市整備部まちづくり推進課
令和7年5月



みちの井戸端会議とは？



調布市は、令和6年度から、市内の都市計画道路や生活道路を一体的に計画した「調布市道路網計画」の改定を進めています。

この度、道路網構築の目標や視点について、皆さんのご意見をお聞きし、道路網計画改定の検討を進めていきたいと考えています。

「みちの井戸端会議」は、市民の皆さんのご意見をお聞きする場です。



「調布市道路網計画」とは?



- ・ 調布市道路網計画(平成28年3月策定)は、都市計画道路を対象とした「**広域道路網計画**」と、生活道路を対象とした「**地区内道路網計画**」により構成します。
- ・ それぞれの計画に、調布市の将来都市像の実現に必要な「**目指すべき道路網**」、整備優先度を明示した「**道路整備プログラム**」を設けました。
- ・ 広域道路整備プログラムの優先整備路線(※)に関しては、多くの路線が事業中または事業準備中です。
- ・ 地区内道路整備プログラムに関しては、多くの路線が事業中であり、整備が完了した路線もあります。

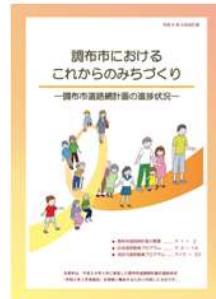
※H28年度～R7年度の10年間で、整備または着手する路線



▲調布市道路網計画



▲「調布市におけるこれからのみちづくり
調布市道路網計画」パンフレット



▲「調布市におけるこれからのみちづくり
調布市道路網計画の進捗状況」パンフレット



「調布市道路網計画」の改定について



- ・ 現在、計画の策定から約9年が経過し、**最新の社会経済状況や、市を取り巻く状況等**の変化に対応した計画とするため、「調布市道路網計画」の改定に向けて検討を進めています。

コロナ禍による ライフスタイルの変化



ゆとりある屋外空間や
回遊空間に対する
ニーズが高まっています。
出典：国土交通省「新型コロナ
感染症の影響下における移動行動
動調査(令和4年12月実施)」
より作成

交通需要の変化



都内の平均交通量
はやや減少しており、
交通量の変化等に
応じた計画内容の
見直しが必要です。

出典：国土交通省「道路交通センサス」
より作成

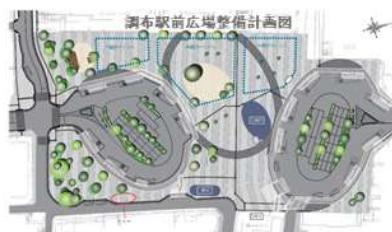
防災・減災の強化



市内における台風による道路冠水の状況
緊急時の物資輸送や活動人員
の移動を支える道路網の構築
を進めています。

出典：「令和元年東日本台風
（台風第17号）調査報告書」
（令和3年3月）p.32

中心市街地の活性化



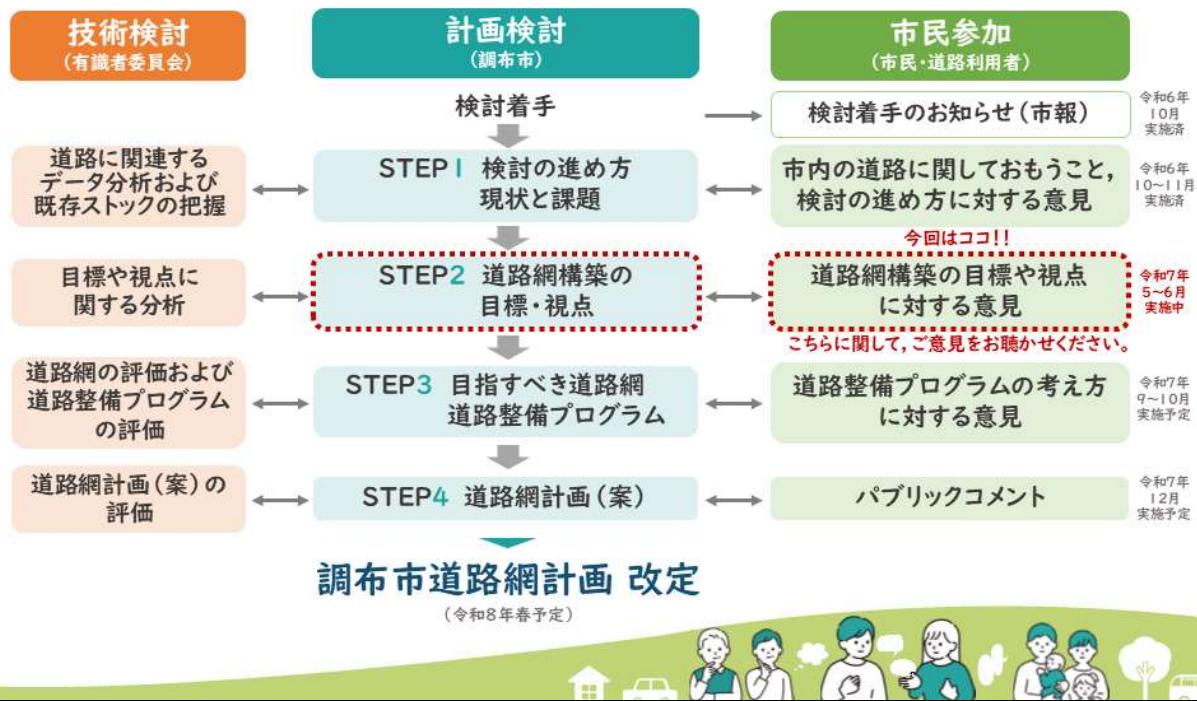
京王線の地下化に伴う
駅前広場の整備や鉄道敷地
を活用した緑道整備等により、
中心市街地を安全・快適に
回遊できる道路ネットワークの
形成を進めています。

出典：調布駅前広場整備計画図
(令和5年3月改訂)

検討の進め方について



- 道路網計画の改定に当たっては、「計画検討」、「技術検討」、「市民参加」を並行して実施しながら検討を進めます。

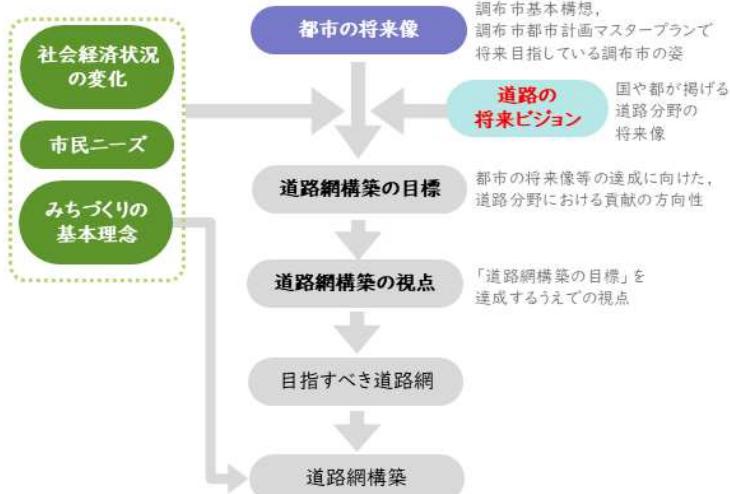


道路網構築の体系とみちづくりの基本理念



- 新たに「道路の将来ビジョン」も取り入れながら、道路網を構築していきます。
- みちづくりの基本理念は、道路網構築に取り組むうえでの市の基本的な姿勢です。

道路網構築の体系



みちづくりの基本理念

道路に期待される多様な役割が発揮されることを重視したみちづくり

現計画同様の方向性を持ちつつ、**自動車・自転車・歩行**といった多様な交通手段の利便性・安全性・快適性を確保する必要があります。

選択と集中により短期間で効果が発現されるみちづくり

引き続き、効率的かつ効果的な道路整備を進めるこことを目指していく必要があります。

定期的に道路の必要性や優先度を確認する、柔軟かつ継続的なみちづくり

社会経済状況や上位関連計画の変化に対応するとともに、**予想される様々な将来に対応した**計画とする必要があります。

※赤字部分は、現道路網計画(H28.3策定)から更新した項目

道路網構築の目標



- 都市の将来像、社会経済状況の変化、市民ニーズ、みちづくりの基本理念や道路の将来ビジョンを踏まえ、道路網構築の目標を設定します。

ウェルビーイング
便利
安全

ウェルビーイング、便利、 そして安全な移動空間の確保

歩行者や自転車利用者など自動車以外の移動空間を充実させて、誰もがウェルビーイング、便利、安全に移動することができるみちづくりを進めていきます。

防災
減災

防災・減災機能の強化

水害、土砂災害、複合災害など、近年高まる災害リスクに備えるため、防災・減災機能を強化したみちづくりを進めていきます。

活性化

商業・文化・にぎわいが 織りなすまちの形成

歩行者の快適な移動や滞在空間・駅周辺の回遊性を高めるとともに、物流交通の円滑化や観光拠点の魅力の向上と道路空間の活用により、にぎわいのあるまちづくりに寄与するみちづくりを進めていきます。

環境
住環境

脱炭素なまち、生活環境に 配慮した住みやすいまちの形成

ゼロカーボンシティの実現や生活道路の整備、狭い道路の拡幅など、良好な住環境の形成を目指し、脱炭素で生活環境に配慮した、住みやすいまちを形成するみちづくりを進めていきます。

効率性

効率的かつ効果的な みちづくりの推進

道路の必要性や整備優先度等を定期的に確認することで、効率的かつ効果的なみちづくりを進めていきます。

※赤字部分は、現道路網計画（H28.3策定）から更新した項目



6

道路網構築の視点



- 道路網構築の目標達成に向けて、考慮すべき視点を設定します。

ウェルビーイング・便利・安全

●鉄道駅へのアクセス性向上

・様々な交通手段による鉄道駅へのアクセス性の向上を図ります

●救急搬送時のアクセス性向上

・主要な救急搬送先（第3次救急医療施設等）へのアクセス性の向上を図ります

●地域の拠点や主要施設への安全で快適な移動の実現

・通常路や公共施設へのアクセス路線において、安全性・快適性の向上を図ります

●道路混雑の解消

・将来的な自動車交通需要に対応した交通処理機能を確保します

●歩行者空間の確保や自転車利用環境の充実

・自動車需要に対して相対的に高まっている徒歩や自転車の需要に対応します

活性化

●にぎわいの創出

・歩行者の快適な移動空間の確保、駅周辺の回遊性の向上を図ります

●観光振興の実現

・市の観光拠点へのアクセス性・回遊性の向上を図ります

防災・減災

●火災時の延焼防止

・木造住宅密集地域等における延焼遮断機能の形成を図ります

●緊急時の物資輸送や活動人員の移動

・緊急時における物資や活動人員の円滑な輸送経路を確保します
・消防活動困難区域の解消を図ります

●緊急時の避難のしやすさ向上

・緊急時や近年多発・激甚化する水害や土砂災害に対応した安全に移動できる避難路を確保します

環境・住環境

●都市の脱炭素化の促進

・道路ネットワーク構築によるCO₂削減効果を確認し、都市の脱炭素化への影響を確認します

●住みやすいまちの形成

・市民が愛着と親しみを持って普段から頻繁に利用している路線の安全性・快適性の向上を図ります

※赤字部分は、現道路網計画（H28.3策定）から更新した項目



7

前回の「みちの井戸端会議」でいただいたご意見



- 令和6年10月～11月に実施した「みちの井戸端会議」で、皆さんからいただいた主なご意見を紹介します。(意見の多かった内容を上から順に掲載しています。)

道路に関する困りごと

日々道路を利用する際に感じている困りごとをみなさん尋ねました。



道路に関する10年前からの変化

現計画の策定期(H28.3策定)より約9年が経過しているため、みなさんに10年前からの変化を尋ねました。



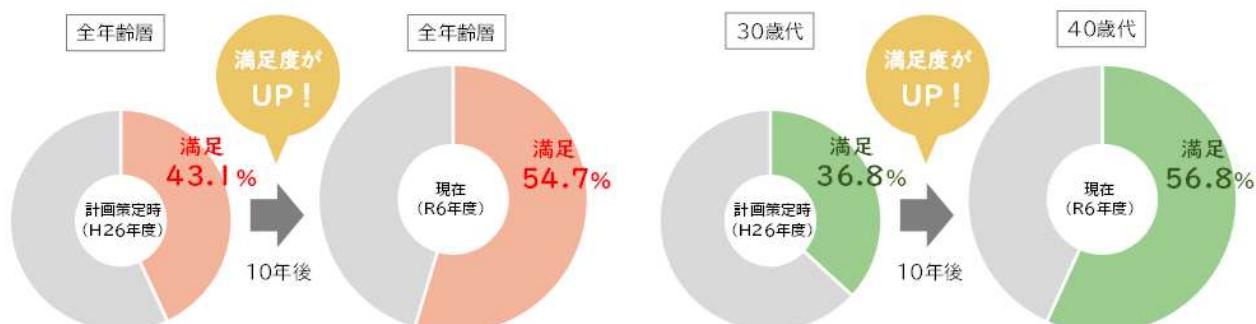
道路に対する満足度の変化



- 道路に対する満足度について、10年前と現在を比較すると、全ての年齢層で満足度が上昇しています。
- その中でも、現在の40歳代の層(計画策定期に30歳代であった層)は、大きく満足度が上昇しています。

●道路に関する市民アンケートの結果

設問：市内の道路に対する満足度を教えてください(選択式・単一回答)。



調布市における様々な道路

みちの
戸端会議

- 調布市には様々な道路が存在します。
これらの道路について、みなさんが思っていることをお聞かせください。

●幹線道路



調布3・4・17号線
(松原通り・若葉町2丁目付近)



調布3・4・21号線
(つるぎヶ丘駅 南側)



調布3・4・28号線
(甲州街道-旧甲州街道間)



調布3・4・32号線
(西調布駅 北側)

●地区内道路(生活道路・狭い道路)



●京王線地下化後に整備した道路

市道S56号線
(トリエ京王調布C館北側)



市道S117号線
(猪江通り～布田東路
上自転車等駐車場)

市道S75号線
(トリエ京王調布A館東側)

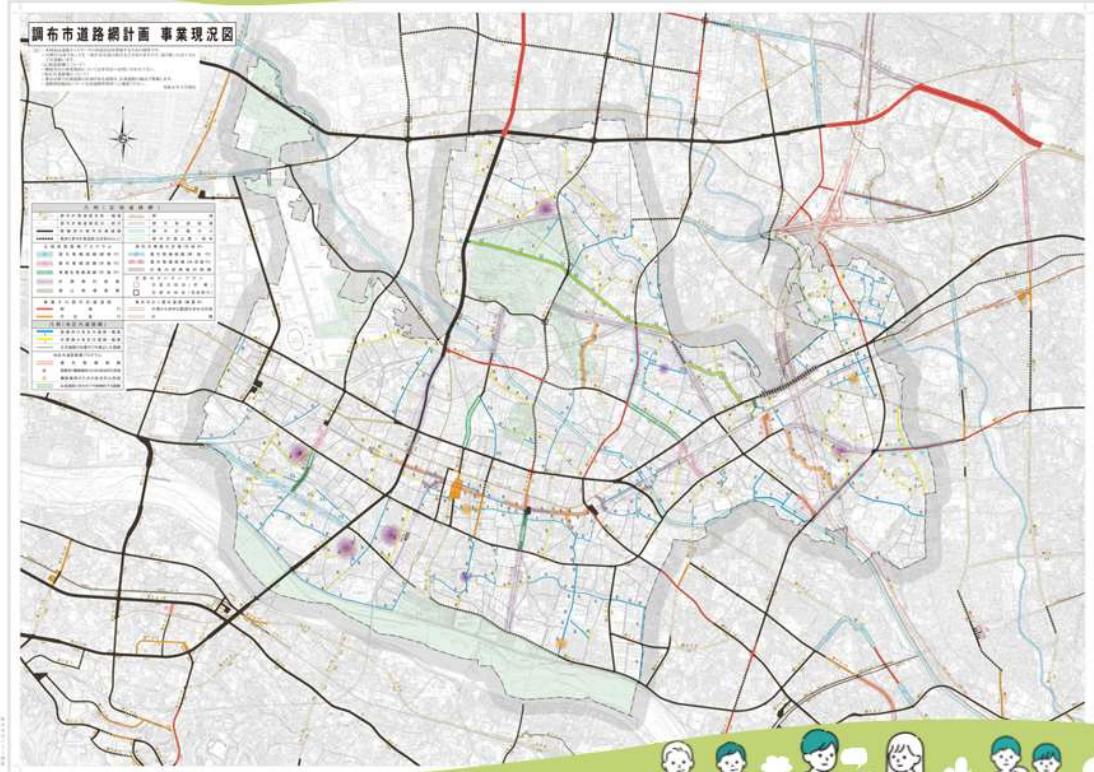


市道S170号線
(国領駅 東側)

10年前と現在を比較した際の
満足度をお聞かせください。

参考(事業現況図)

みちの
戸端会議



自転車活用推進計画とは



これまで自転車に関する施策は個別の計画で対応してきましたが、近年の自転車を取り巻く状況に対応できるように、これらの計画を更新しつつ、健康や観光等の視点を加えて「自転車活用推進計画」としての策定を進めます。

現在

自転車等対策総合計画および 自転車等対策実施計画

- ・地域ニーズを踏まえた駐輪場整備



自転車ネットワーク計画

- ・自転車ネットワークの形成



これから

自転車活用推進計画

- ・地域ニーズを踏まえた駐輪場整備
- ・自転車ネットワークの形成
- ・健康づくりの推進
- ・観光への自転車活用
- ・安全な自転車利用の促進

検討の進め方(市民参加)

今回はココ!!

現状と課題に関する意見

上記についてお聴かせください。

施策や計画素案に対する意見

パブリックコメント

自転車活用推進計画策定

令和7年
5~6月
実施中

令和7年
9~10月
実施予定

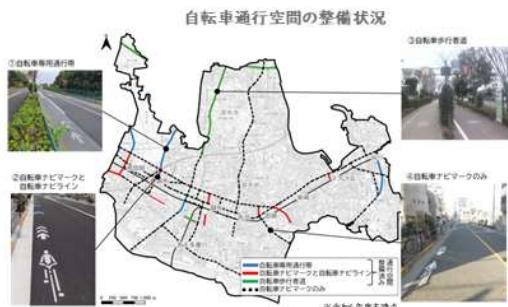
令和8年
1月
実施予定



調布市の自転車を取り巻く状況について



通行空間・駐輪場を取り巻く状況



みちを通ると
不便を感じること
はありませんか?



地域ニーズに合わせた
駐輪施設を実施しており、
例えば調布駅では路上
駐輪場を整備しました。

自転車をとめるとき
不便を感じることは
ありませんか?

健康を取り巻く状況



自転車に乗る(通勤)と卓球は
同程度の運動強度となっており、
サイクリングとランニングは
同程度の運動強度となっています。

調布市役所に設置されたシェアサイクルステーション



調布市では自転車通勤者
や市営への来訪者のため
に必要な駐輪場を整備し、
シェアサイクル事業者による
ステーションの設置も行いました。

適度な自転車
利用を意識し
ていますか?



調布市の自転車を取り巻く状況について



観光を取り巻く状況



市内には深大寺や味の素スタジアム、多摩川や野川など魅力的な観光資源があります。



国連の取り組み「GOOD CYCLE JAPAN」にて東京多摩2020レガシーロードが選定され、調布市もコースの一部となりました。

自転車で行きたい場所や気持ちよく走りたい場所はありますか？

安全・安心を取り巻く状況

警視庁からのご案内



自転車利用中のヘルメットの着用が努力義務化となりました。
(令和5年から)

対人船衝突事故に保険等の加入が義務化されました。
(令和2年から)

普段からの安全意識や、万が一の事故への備えは十分ですか？

歩道を自転車に乗ったまま通行する様子



自転車は車道通行が原則です。駅前広場周辺の歩道も自転車を押し歩きする必要があります。

自転車の正しい通行方法を理解していますか？

14

【デジタルサイネージのみ提示パネル】まちの戸端会議

道路網計画に関するご意見・ご感想を
以下のQRコードを読み取り、お聴かせください！



【URL】

https://questant.jp/q/chofu_road_OH_2025_05-06

「調布市道路網計画」改定のための
検討に関する意見交換の場

調布市
都市整備部 まちづくり推進課



「調布市道路網計画」改定のための
検討に関する意見交換の場

ご自由にご覧ください



道路の整備優先度や
整備プログラムの考え方について、
ご意見をお聞かせください。

調布市都市整備部まちづくり推進課
令和7年10月



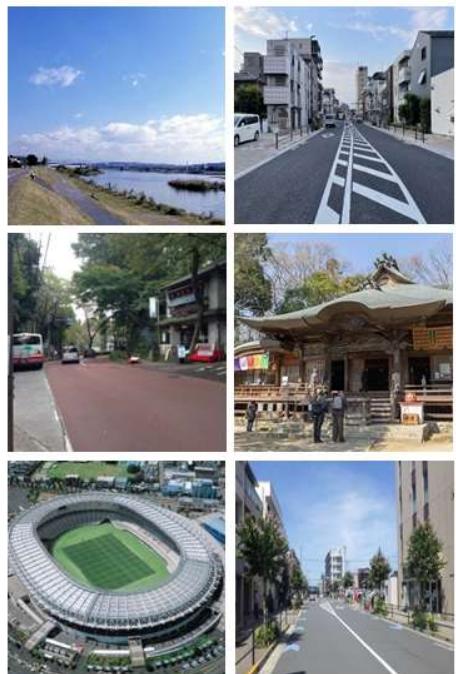
みちの井戸端会議とは？



調布市は、令和6年度から、市内の都市計画道路や生活道路を一体的に計画した「調布市道路網計画」の改定に向けて検討を進めています。

この度、道路の整備優先度や整備プログラムの考え方について、皆さんのご意見をお聞きし、令和8年春頃に計画を改定する予定です。

「みちの井戸端会議」は、市民の皆さんのご意見をお聞きする場です。



「調布市道路網計画」とは?



- ・ 調布市道路網計画(平成28年3月策定)は、都市計画道路を対象とした「**広域道路網計画**」と、生活道路を対象とした「**地区内道路網計画**」により構成します。
- ・ それぞれの計画に、調布市の将来都市像の実現に必要な「**目指すべき道路網**」、整備優先度を明示した「**道路整備プログラム**」を設けました。
- ・ 広域道路整備プログラムの優先整備路線(※)に関しては、多くの路線が事業中または事業準備中です。
- ・ 地区内道路整備プログラムに関しては、多くの路線が事業中であり、整備が完了した路線もあります。

※H28年度～R7年度の10年間で、整備または着手する路線



調布市道路網計画

「調布市におけるこれからのみちづくり
調布市道路網計画」パンフレット

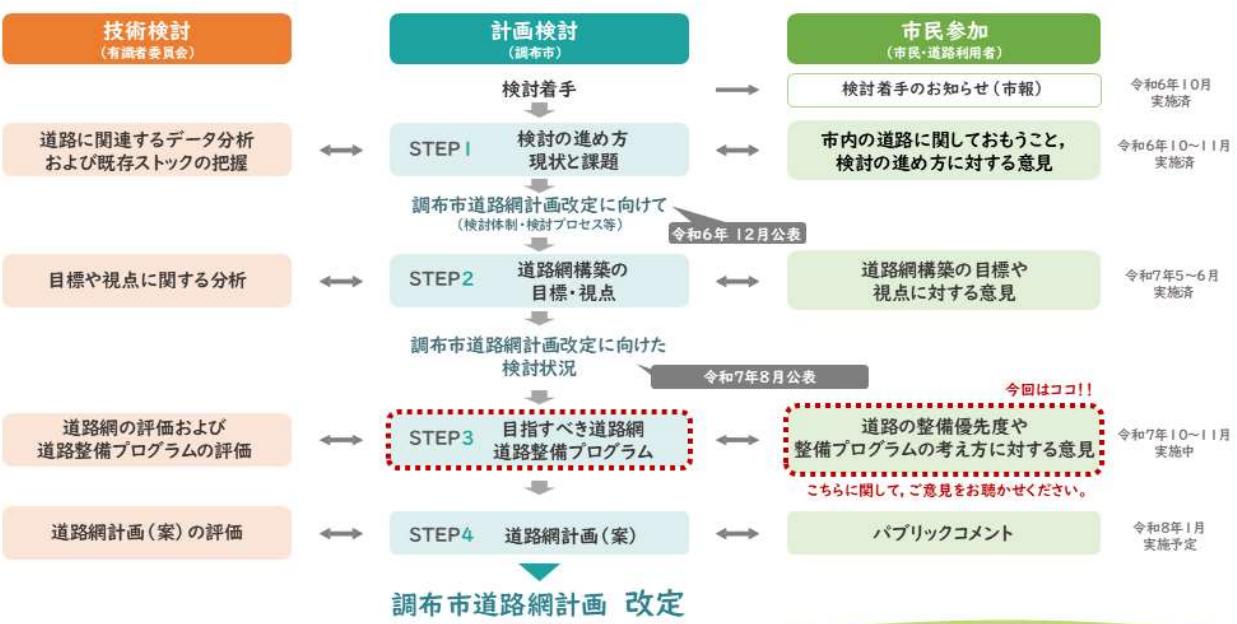
「調布市におけるこれからのみちづくり
調布市道路網計画の進捗状況」パンフレット

2

検討の進め方について



- ・ 道路網計画の改定に向けて、引き続き、「計画検討」、「技術検討」、「市民参加」を並行して実施しながら検討を進めます。

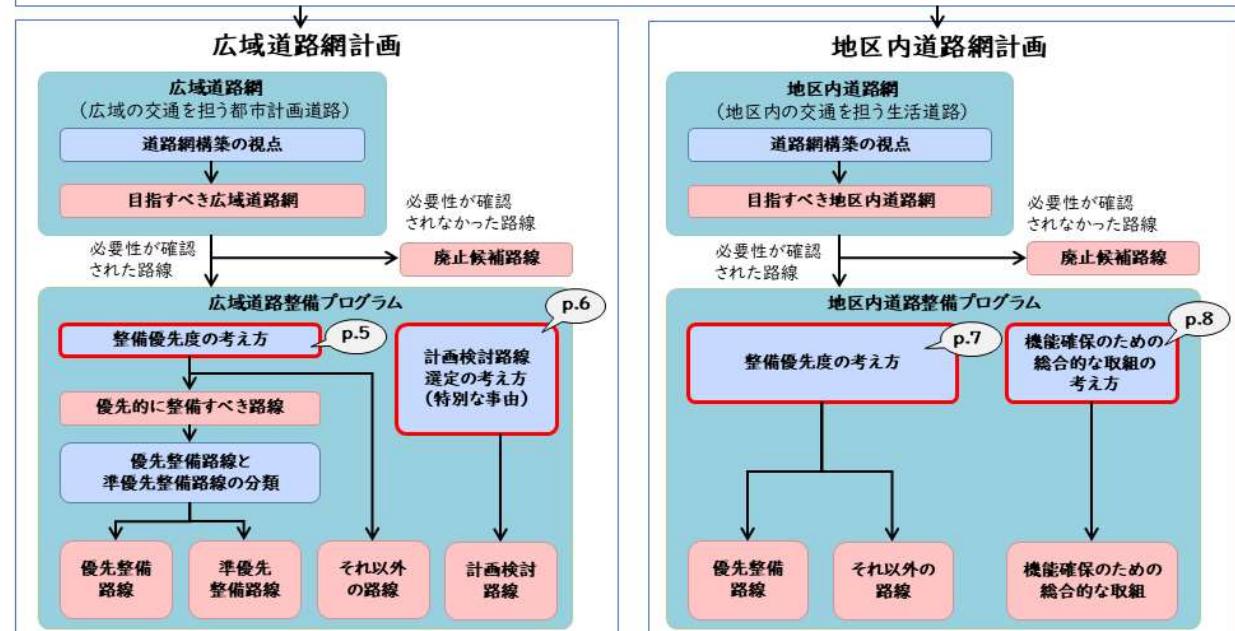


道路整備プログラムの構成



- 道路整備プログラムは、必要性が確認された各路線を対象に、整備の優先度等を明示したものです。

道路網構築の目標



4

整備優先度の考え方(広域道路)



- 道路網構築の目標を踏まえ、整備優先度の考え方を設定します。
- その考え方に基づき、「優先的に整備すべき路線」を選定します。
- 「優先的に整備すべき路線」を令和8年度から22年度までの15年間で事業着手または整備する「優先整備路線」、優先整備路線の次に事業着手または整備する「準優先整備路線」に分類します。

①円滑な道路ネットワークの構築

快適・便利
安全
効率性

部分的に未整備となっている区間を整備することで、早期に整備効果を発現します。

②関連する都市基盤整備事業との連携

快適・便利
安全
効率性

東部地区における交通環境の改善に向けた取組などと連携を図り、整備効果の大幅な向上を図ります。

③災害に強い都市基盤の整備

防災
減災

地域の防災上重要な機能を果たす路線を整備することで、災害に強いまちを形成します。

④快適でより便利なまちの形成

快適・便利
安全
環境
住環境

バス路線や駅周辺駐輪場へのアクセス路線、住民発意によるまちづくりと関連する路線、緑の連結軸の形成に寄与する路線を整備することで、快適でより便利なまちを形成します。

⑤安全な通行空間の確保

快適・便利
安全
環境
住環境

駅周辺のバリアフリー化や、通学路に歩道を設置することで、安全な歩行空間の確保を図ります。

⑥地域特性を活かした都市空間の形成

快適・便利
安全
活性化

駅周辺における交通の利便性の向上を図るとともに、深大寺地区へのアクセス性向上を図ります。

*赤字下線部分は、現道路網計画(H28.3策定)から更新した項目

5

計画検討路線選定の考え方(広域道路)



- 広域道路網として必要性が確認された路線のうち、特別な事由により、道路の線形、幅員、位置、構造の変更など都市計画の内容について検討する必要がある路線を「計画検討路線」として位置付けます。

①現地の状況により、検討が必要な路線

計画地周辺の地形条件や自然環境等により、今後、事業化を見据えて、構造、幅員等の検討が必要な路線を選定します。

③隣接市区と調整が必要な路線

隣接市区と接続する都市計画道路で、都市計画の不整合が生じている路線や隣接市区と調整が必要な路線を選定します。

②計画線上に国指定史跡があり、かつ史跡の復元等にあたり検討が必要な路線

都市計画道路と国指定史跡との重複により、史跡に配慮した検討が必要な路線を選定します。

④既存道路を活用し、都市計画道路の機能を代替できる可能性のある路線

都市計画道路と並行する既存道路の機能の向上を図ることで、当該道路が都市計画道路の持つ機能を代替できる可能性がある路線を選定します。



整備優先度の考え方(地区内道路)



- 道路網構築の目標を踏まえ、整備優先度の考え方を設定します。
- その整備優先度の考え方に基づき、令和8年度から22年度までの15年間で事業着手または整備する「優先整備路線」を選定します。

①震災や風水害時の避難に資する路線



都市計画道路または都道と広域避難場所・避難所を結ぶ路線を整備することで、防災性の向上を図ります。



出典: 滋賀市防災マップ(令和2年12月改定)

②都市基盤整備事業の関連路線



学校施設の建替えなどと連動して効果的な整備を進めることで、歩行者の安全性向上を図ります。

③通学路の安全性向上に資する路線



校門に面している路線のうち、見通しが悪い交差点がある路線などを整備することで、児童が安全に通行できる歩行空間の確保を図ります。

※赤字下線部分は、現道路網計画(H28.3策定)から更新した項目



機能確保のための総合的な取組の考え方(地区内道路)



- 地区内道路網として必要性が確認された路線においては、道路空間の確保だけでなく、局所的改良や交通安全の視点も含めた機能確保のための総合的な取組を位置付けます。
- 部分的な拡幅や既存道路の有効活用(カラー舗装や物理的デバイスの設置等)などにより、以下に示す機能の確保ができないか等を検討します。

①ボトルネックとなっている区間の解消

前後区間が整備済となっている区間にについて、拡幅整備等を実施することで、アクセス性の向上や事故の削減などを図ります。



調布駅南側の区間(No.16)、市道C20号線(No.18)、市道E310号線(No.20)

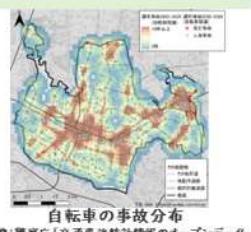
③バス待ち環境の改善

バスの運行本数が多い路線のうち、
バス待ち環境が整備されていない
路線について、短期的に実施可能な方策を検討し、安全性の向上を
図ります。



②歩行者・自転車の交通事故が多い箇所の安全対策

交通事故が多い箇所について、短期的に実施可能な方策を検討し、安全性の向上を図ります。



自転車の事故分布
出典:警察庁「交通事故統計情報のオープンデータ
(令和6年度)」より作成

※赤字下線部分は、現道路網計画(H28.3策定)から更新した項目

【これまでの取組】

現行計画策定以降の取組として、ボトルネック箇所の解消、小学校周辺の安全対策を実施してきました。

市道5315号線
(市道E116号線(白山通り))

市道N582号線
(市道北272号線)

多摩川小学校

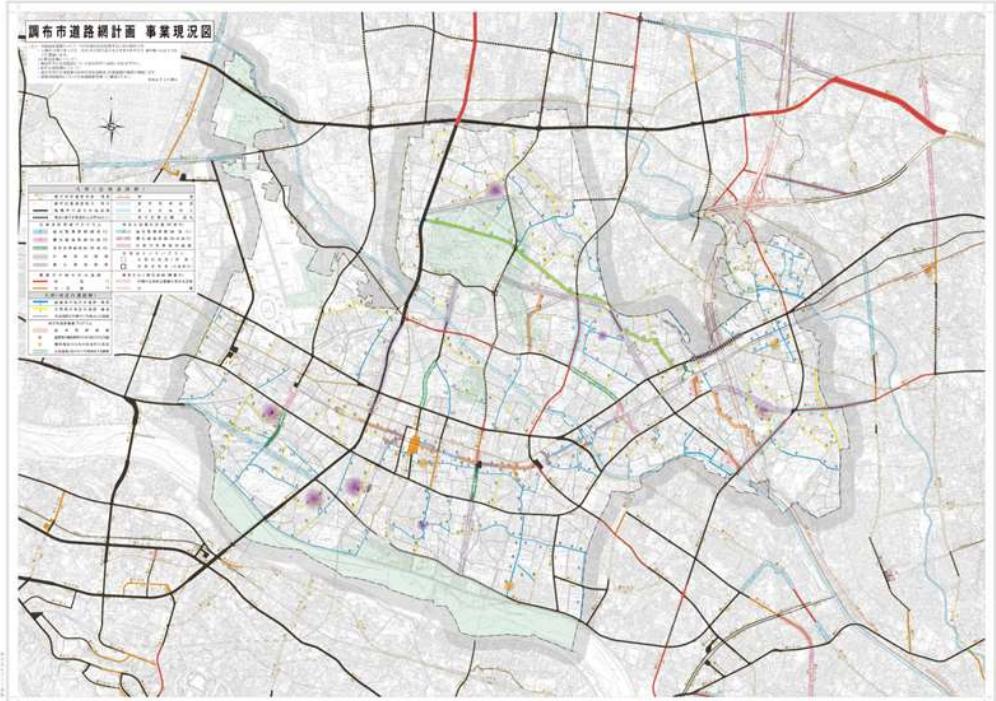


ボトルネック箇所の解消例

小学校周辺の安全対策の例

8

参考(事業現況図)



9

●お問い合わせ先●

調布市 都市整備部 まちづくり推進課

TEL：042-481-7587（直通）

FAX：042-481-6800



古紙配合率100%再生紙を使用しています